小林さんちのメイドラゴン

クール教信者
Coolkyousinnjya

2

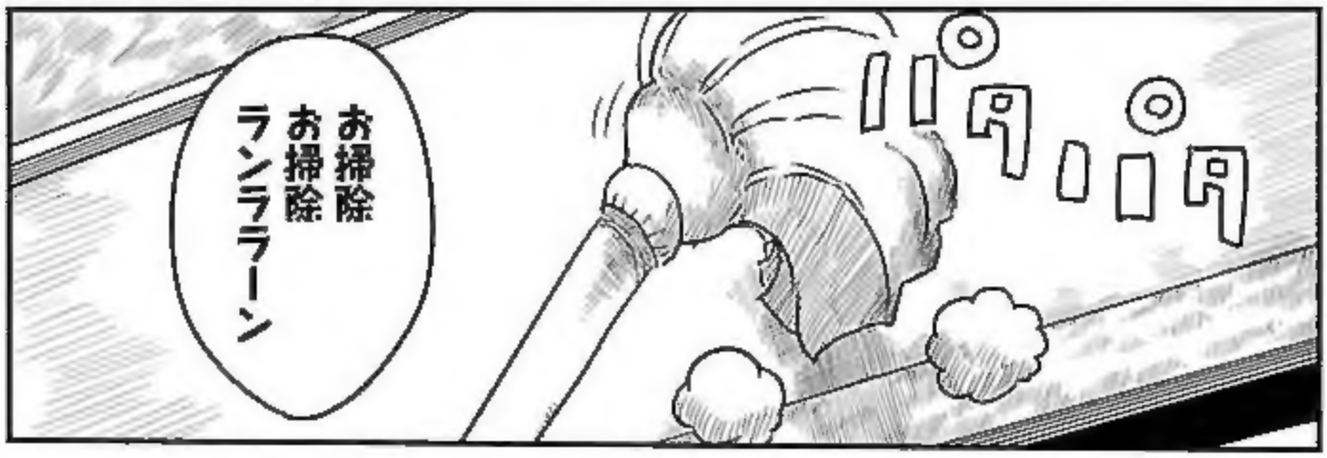
ACTION COMICS

The maid dragon of Kobayashi-san

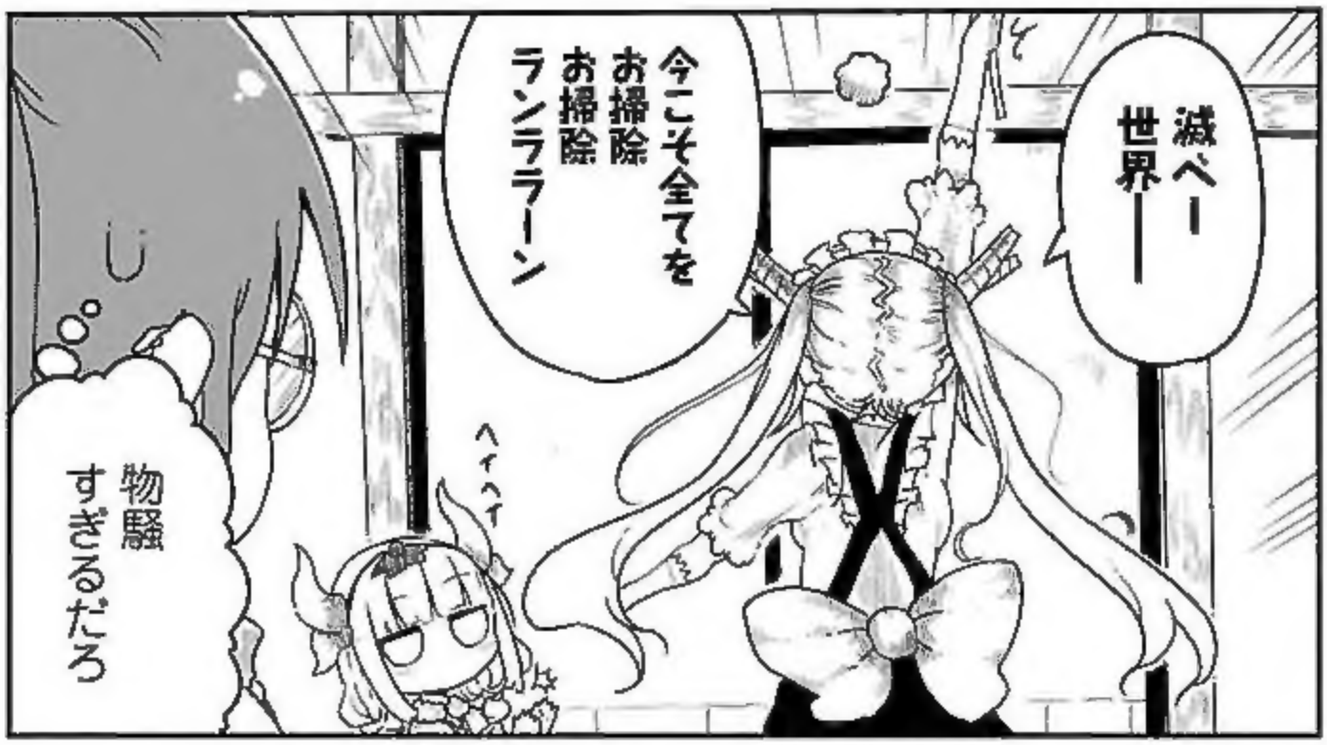
ACTION COMICS
2
小林さんちのメイドラゴン
The maid dragon of Kobayashi-san
クール教信者
Coolkyousinnjya

もくじ

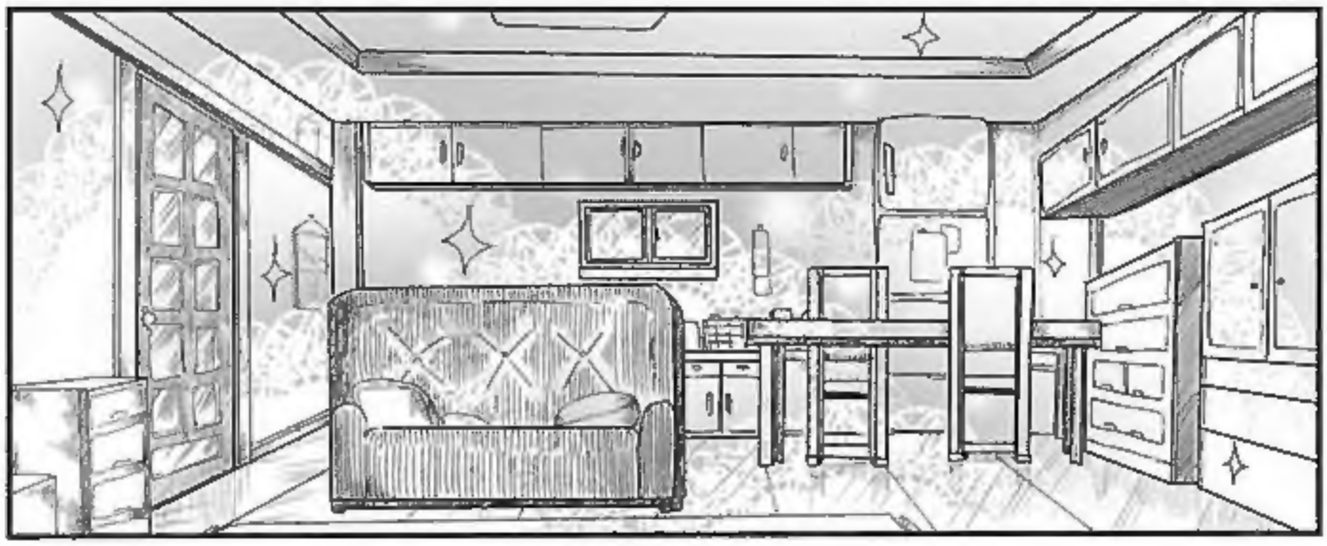
第11話 トールと掃除……005
第12話 トールとオムライス……019
第13話 カンナと学校……033
第14話 トールとデスクワーク……047
第15話 トールと家探し……059
第16話 トールと海水浴……073
第17話 トールとコミケ……087
第18話 トールとエスパー……101
第19話 トールとこの町……115
第20話 トールと父親……129

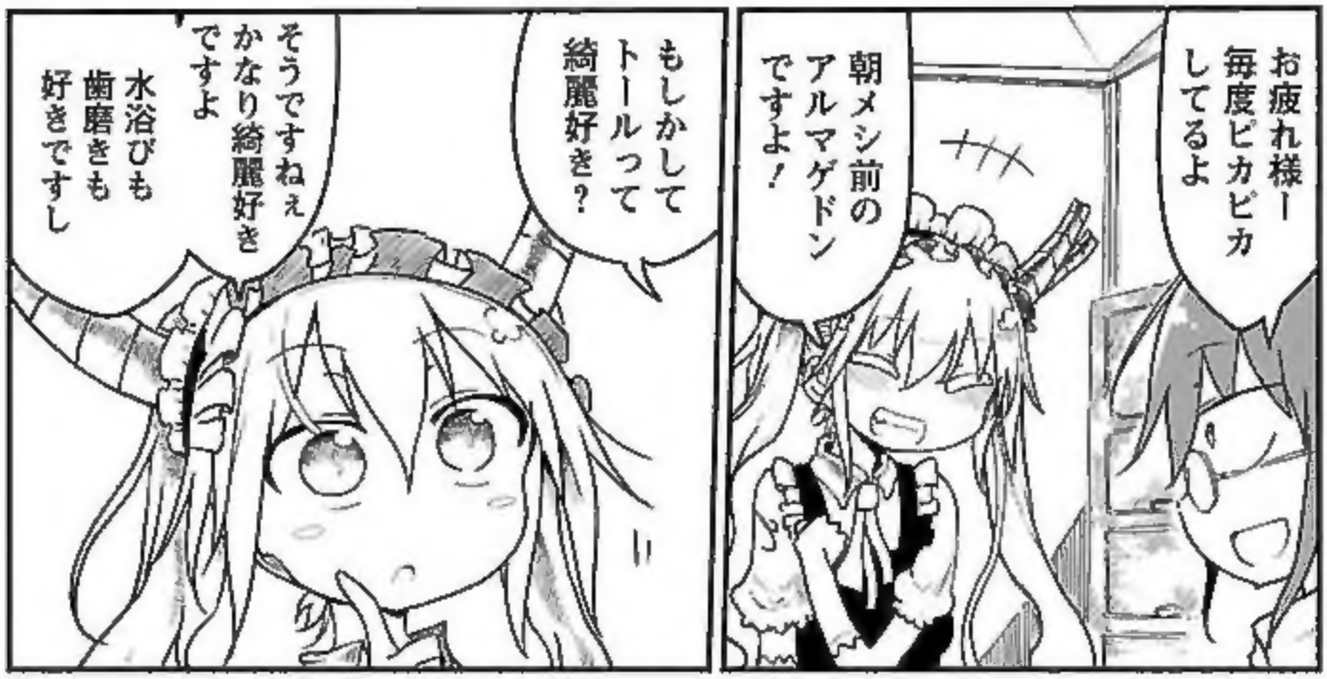

パタパタ
お掃除
お掃除
ランララーン

ほこりを叩いて
ぶっつぶせー
塵も芥も
残さないー
なんだ
そのうた
消しとべ
消しとべ
フンフフーン


滅べー
世界――
今こそ全てを
お掃除
ランララーン
ヘイヘイ
物騒
すぎるだろ

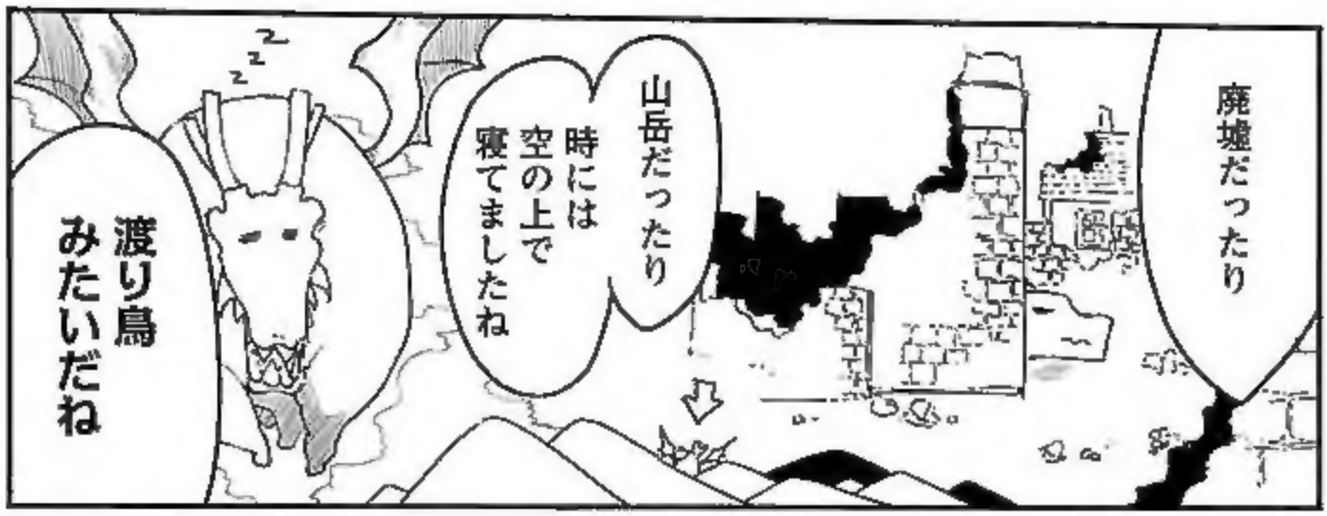
第11話 トールと掃除

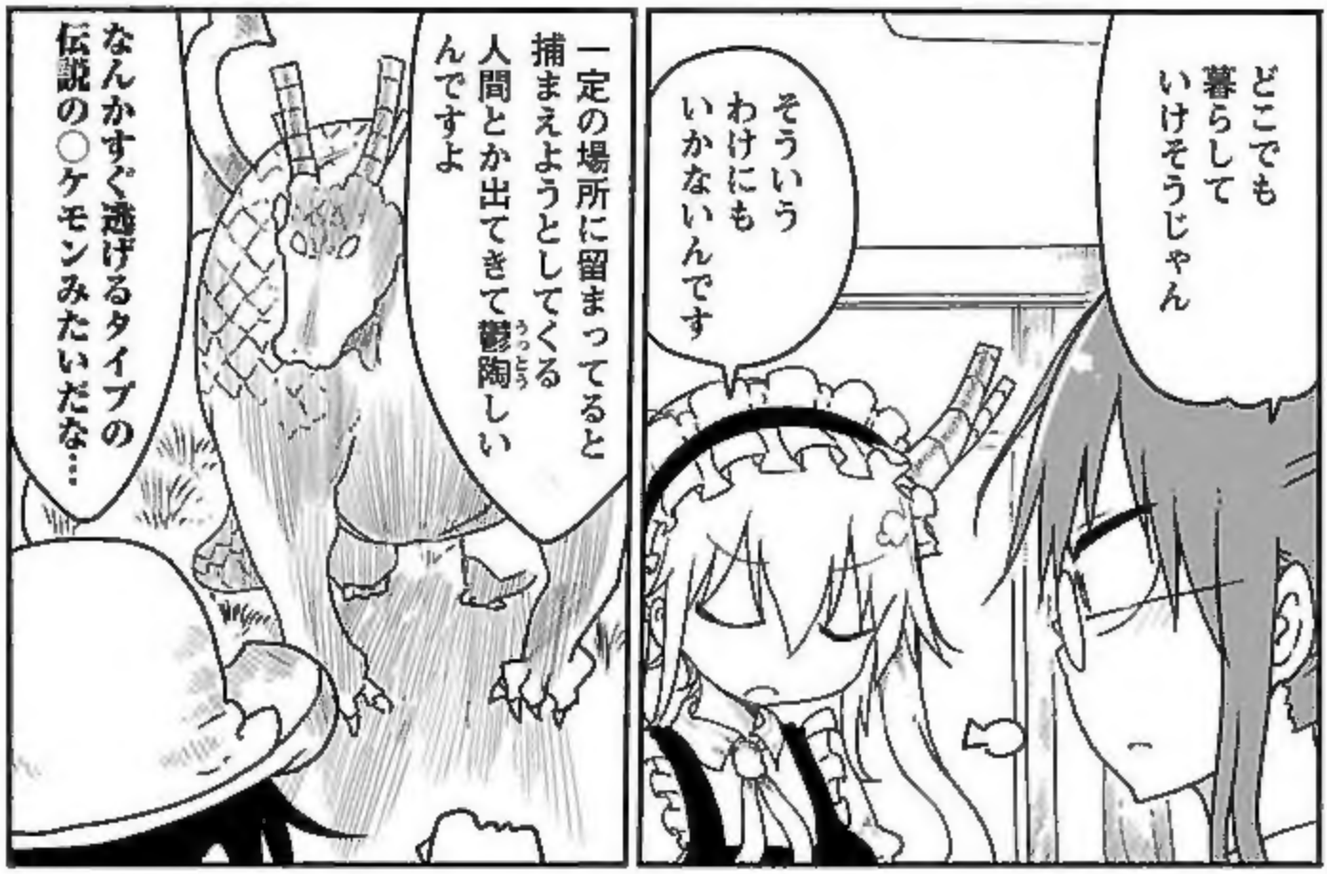



お疲れ様ー
毎度ピカピカ
してるよ
朝メシ前の
アルマゲドン
ですよ！
もしかして
トールって
綺麗好き？
そうですねぇ
かなり綺麗好き
ですよ
水浴びも
歯磨きも
好きですし

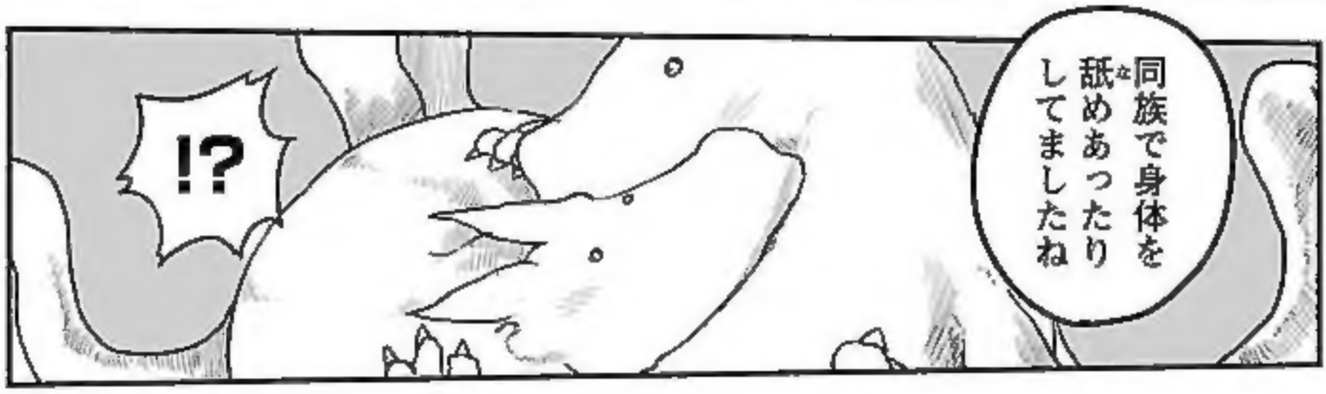
歯の間に溜まった
虫をほじくり
出すのが好き
なんですよ
ホジホジ
虫!?
虫歯菌じゃなくて!?
いやーあれだけ
小さいと入っても
気づかないじゃ
ないですか
HAHA
身体(本体)が
でかいと大変
なんだなぁ

ええ
住み処を探すのも
一苦労でしたよ
ああやっぱり…
どうしてたの？
ほら穴
だった時も
あれば…


廃墟だったり
山岳だったり
時には
空の上で
寝てましたね
渡り鳥
みたいだね


どこでも
暮らして
いけそうじゃん
そういう
わけにも
いかないんです
一定の場所に留まってると
捕まえようとしてくる
人間とか出てきて鬱陶しい
んですよ
なんかすぐ逃げるタイプの
伝説の○ケモンみたいだな…

そのせいか
身体が汚れる
ばっかりで…
水浴びするのも
一苦労ですよ
小さい泉じゃ
洗えないものね
雨が降って
くれればまだ
やりやすかった
ですが
どうしても近くに
水場がない時は…


同族で身体を
舐めあったり
してましたね
!?

カンナとも
やったこと
ありますよ
人間の尺度だと
えっちいよ それ
私も後でそれを
知りました
※実際は竜型です

まぁ 周りのドラゴンは
ほとんど清潔さには
無頓着ですからね
不衛生でも病気に
なりませんし
ほー そりゃ
羨ましい
——と
いうか
ですね…
ん？

小林さんは
かなり適当に
掃除しますよね
ぬコ!?

小林さんの
お部屋掃除すると
机の上にビールの缶が
散乱してたり…
雑誌と本が
順不同で本棚に
入ってたり…
まぁ 汚い
感じですね
いいじゃんか
私 1人暮らし始めたとき
いくら汚しても
お母さんに怒られないぞ
と思ったくらいだし

駄目ですよー
カンナが真似
しちゃうんですから
はぃ
しゃん！
お母さんに
怒られてる
お父さんの
気分わかった
うん…
でもね
トール
はい？

それはトールが
綺麗にして
くれるのが
嬉しくて つい
やっちゃうんだ
え!?
偉大なドラゴンの
トールにかかれば
お茶の子さいさい
だからね
小林さん…

だから
これからも
お願いね
はい！
喜んで！
コバヤシ
悪党

カポーン
パサ…
コンコン

お背中
流しましょうか？
チャ
えいや
いいよ
ひょこ
え？
さっきトールに
綺麗にしてもらうの
好きって言ったのに…
ラ…
そうきたか…
わかったよ
おいで
はーい

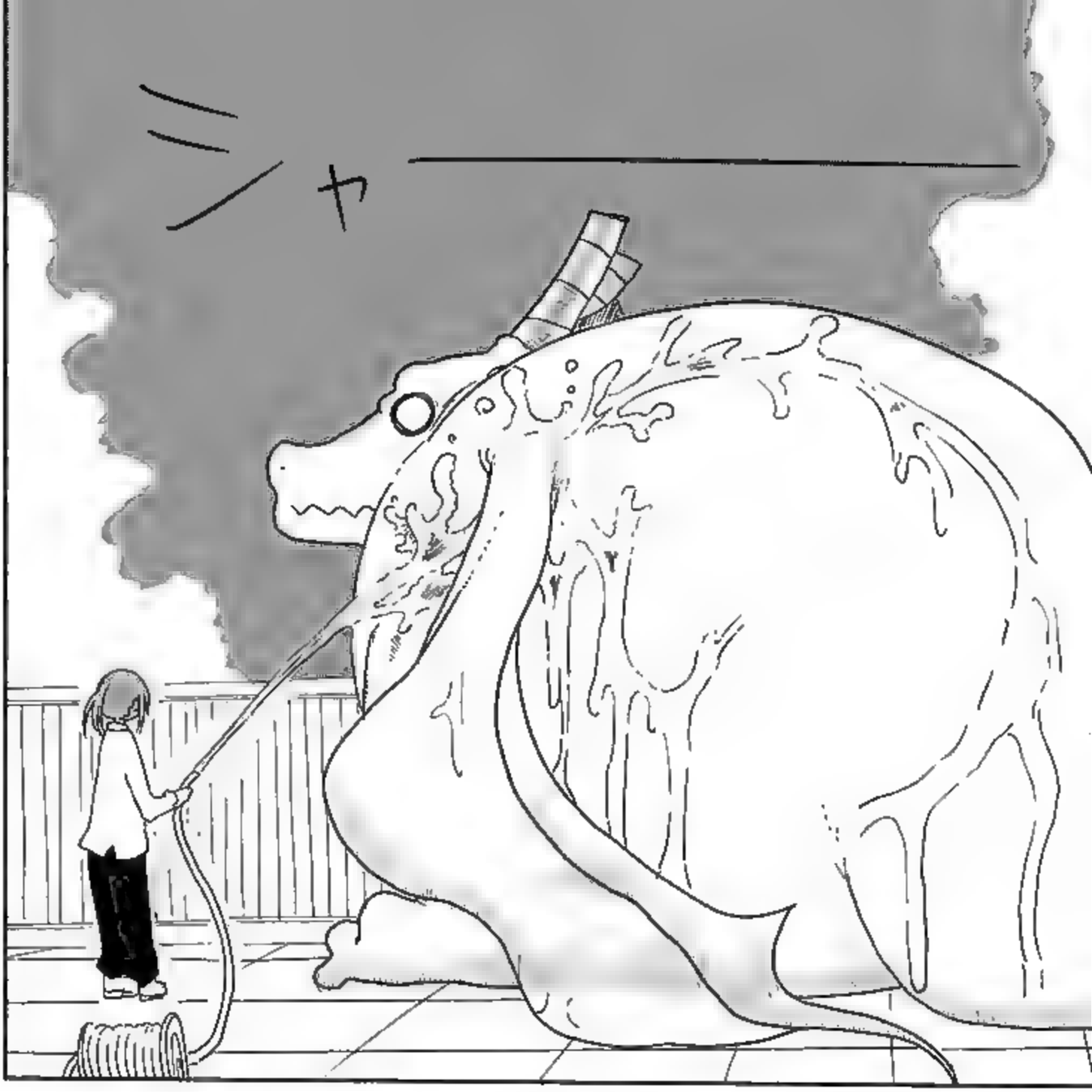
トールは今の身体のが
小さいから洗いやすいでしょ
くしゃ
くしゃ
まぁ
そうですけど…
この身体って
魔法で作ってるから
なんというか
窮屈なんですよ
窮屈？
小さいスーツに
身体押し込んでる
ような感じですかね
なるほど
それに私は今まで
竜の体躯で地面を鳴らして
世を闊歩してきましたからね
制約が多いこの
世界は少々
手狭です
…人間の身体は
気に入らない？

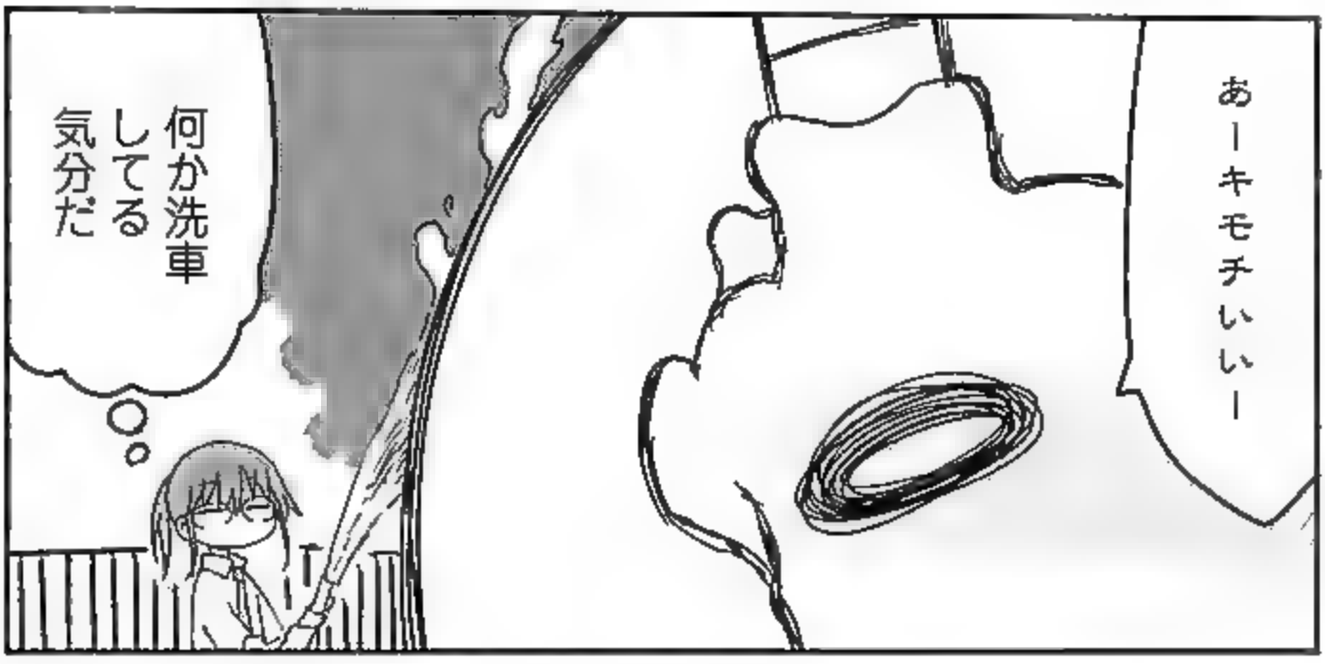
いいえ！
ユッ
！

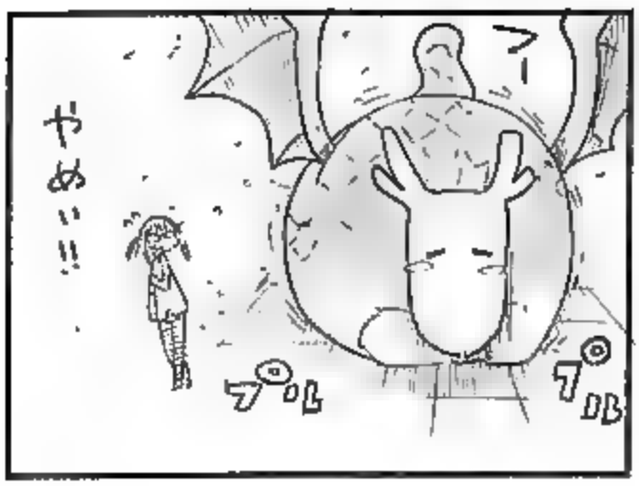
これは
これです
そう…

コバヤシー
わたしもはいるー
！
トール様
洗って
しょうがない
ですねー
せまい
せまい

さ 今日も
お掃除
お掃除
トール
はい？
昨日
身体洗ってくれた
お礼してあげる
え!?
ほれ
こっち
こっち
は はい！
ぬぎ
ぬぎ


シャ

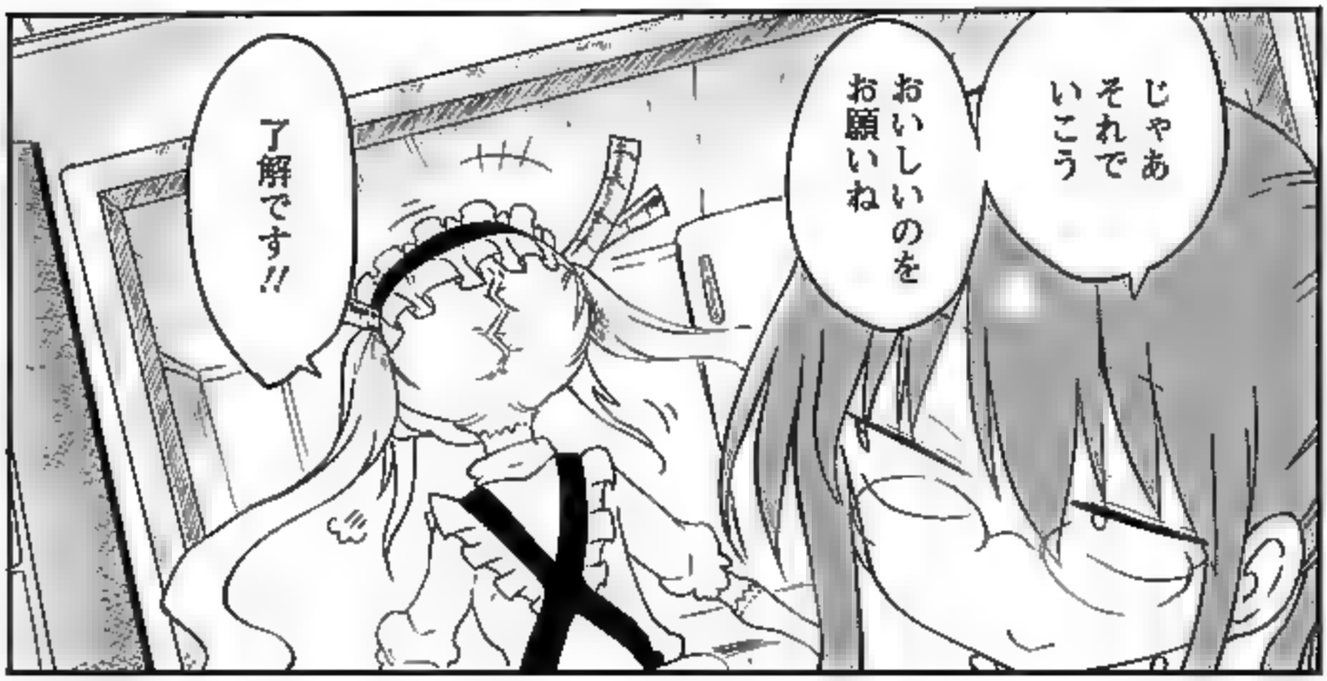

あーキモチいいー
何か洗車してる気分だ


やめ!!!
ア
ア゛ル
ア゛ル

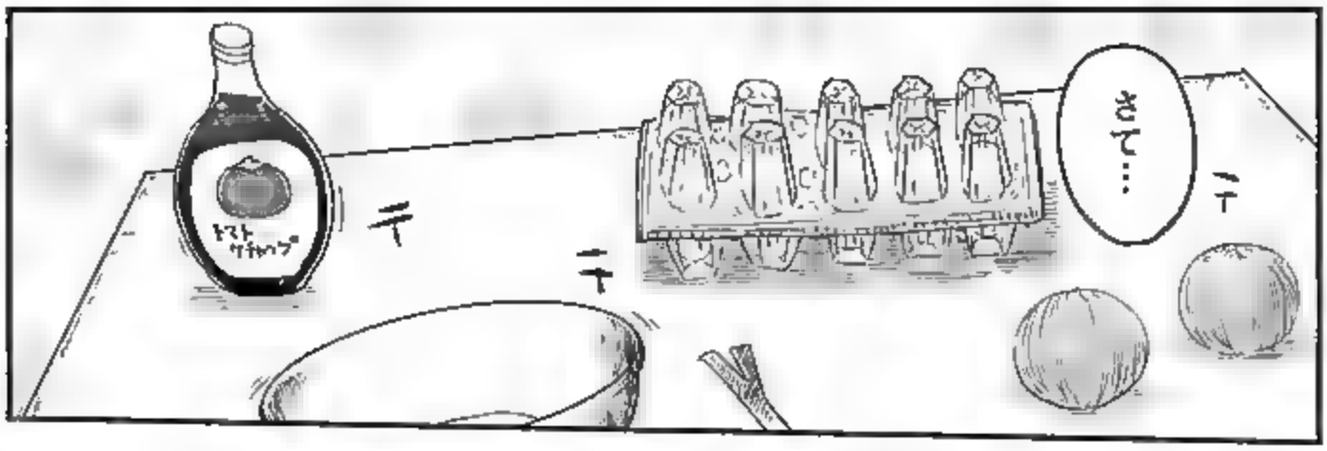
小林さんちの
メイドラゴン

今日の夜ゴハンは何がいいですか？
ええと…別になんでもいい…
わけじゃないな…
ぴちぴち

トールは何か食べたいものないの？
私ですか？
オムライス…ですかね？


じゃあそれでいこう
おいしいのをお願いね
了解です!!

第12話 トールとオムライス


さて…
トマトケチャップ

こんにちはー

材料はあるのですが
そのまま作るのは
味気ないですね…
ふ〜〜〜む

この服ねー この前
指摘された
露出度を
おさえたんだよ
次は身体を
変えるといいですよ

ケツァル
コアトルさん
たまたま近くに
寄ってね
のそっ

あ そーだ
オムライスを
作るんですけど

おいしく作る方法は
ないですかね

ほー
オムライスか

てっとり早く
材料をよくして
しまうのは
どうだい？

なるほど

コト…

にしても
コーヒーを
淹れる姿も
様になって
きたねぇ

そうですか？

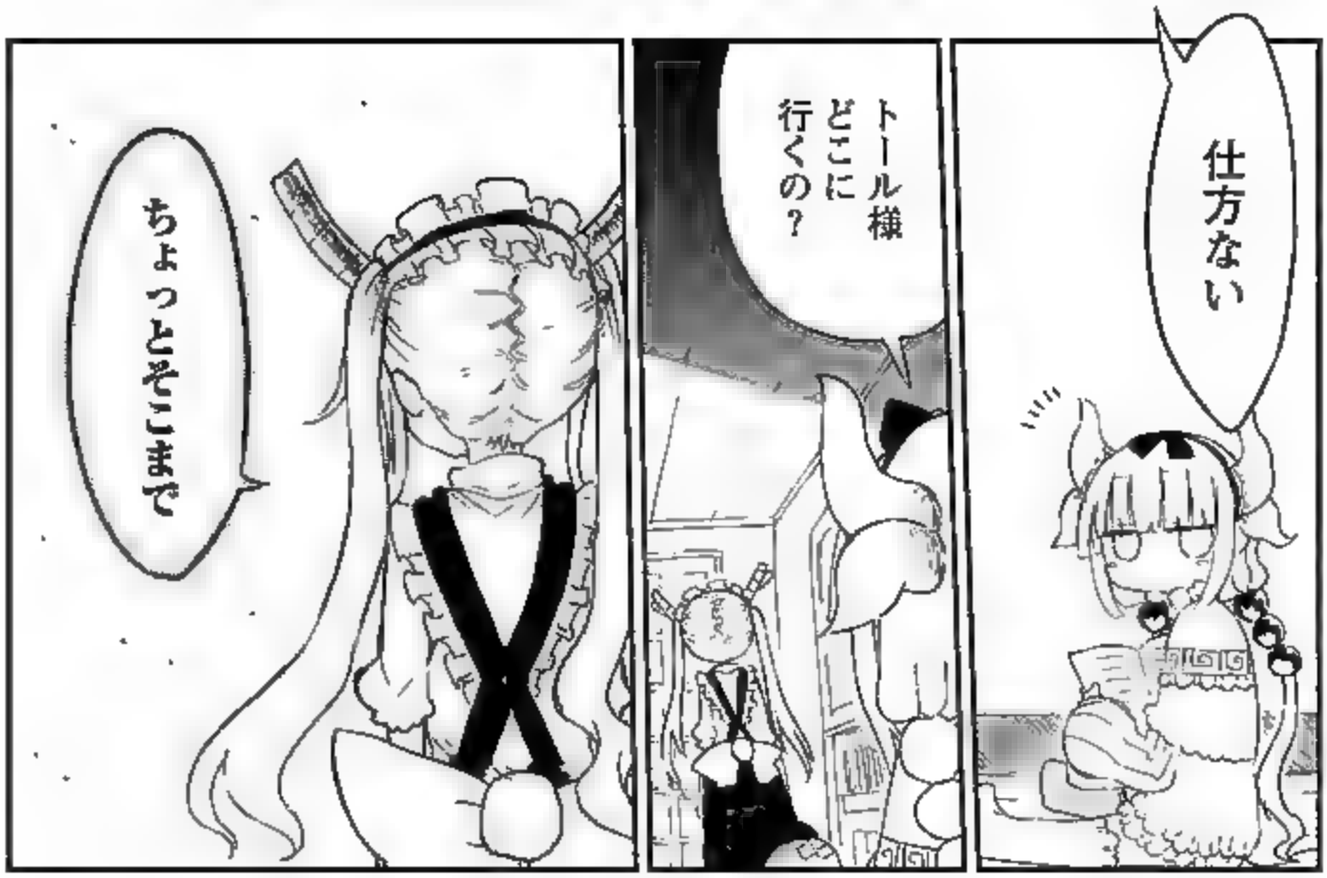
うん また
飲みにくるよ

今度は
おみやげ
くださいね

さて…

ここら辺りの
スーパーで買える
ものとして…
サラサラ
お米も
いいのを…
いい肉
……
明らかなる
予算オーバー

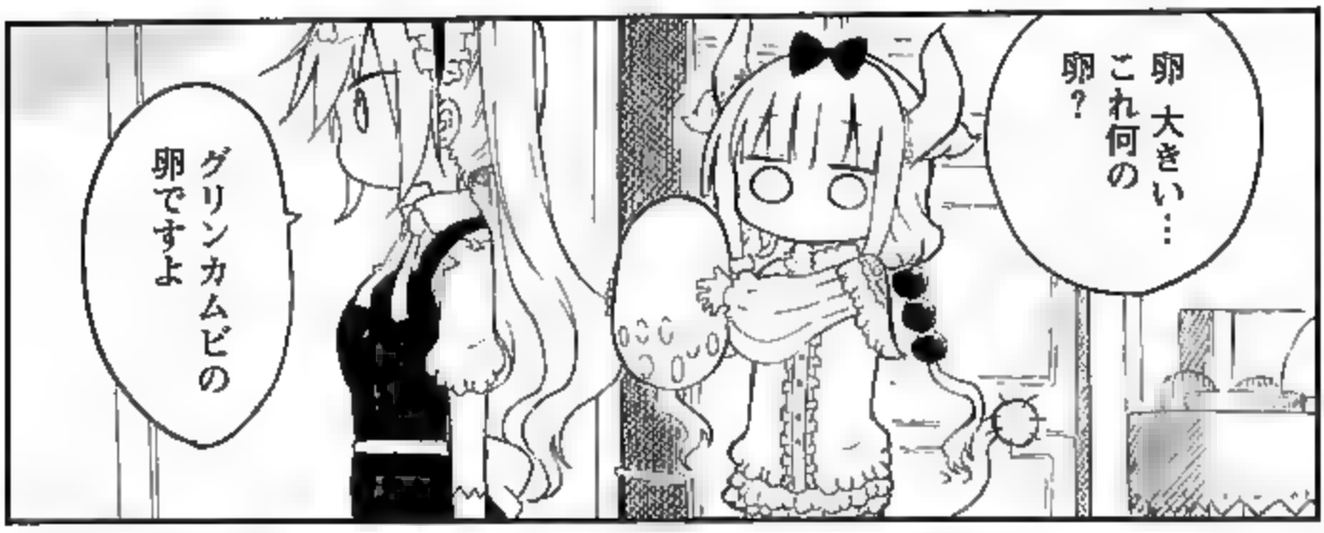
おいしいのを
お願いね


仕方ない
トール様
どこに
行くの？
ちょっとそこまで

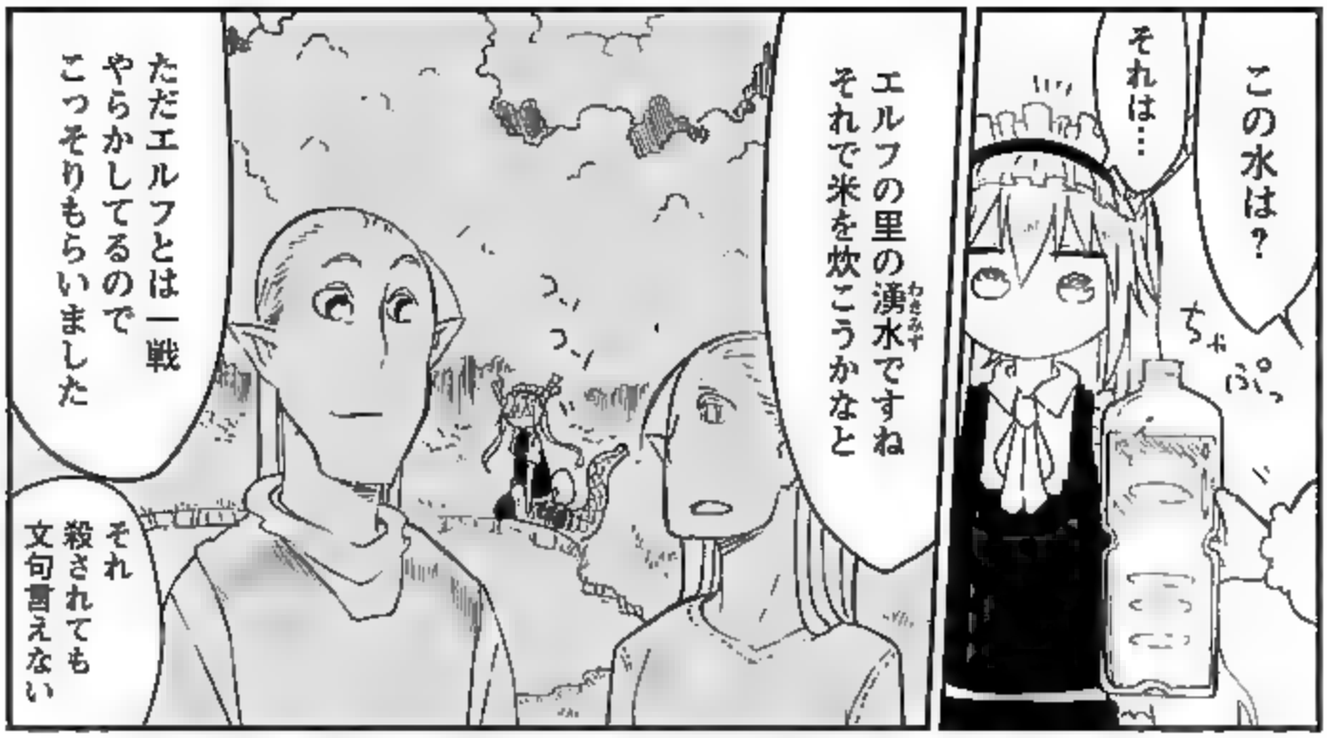
ここら辺でいいかな
ヒュオオオオオオオオ

よーし

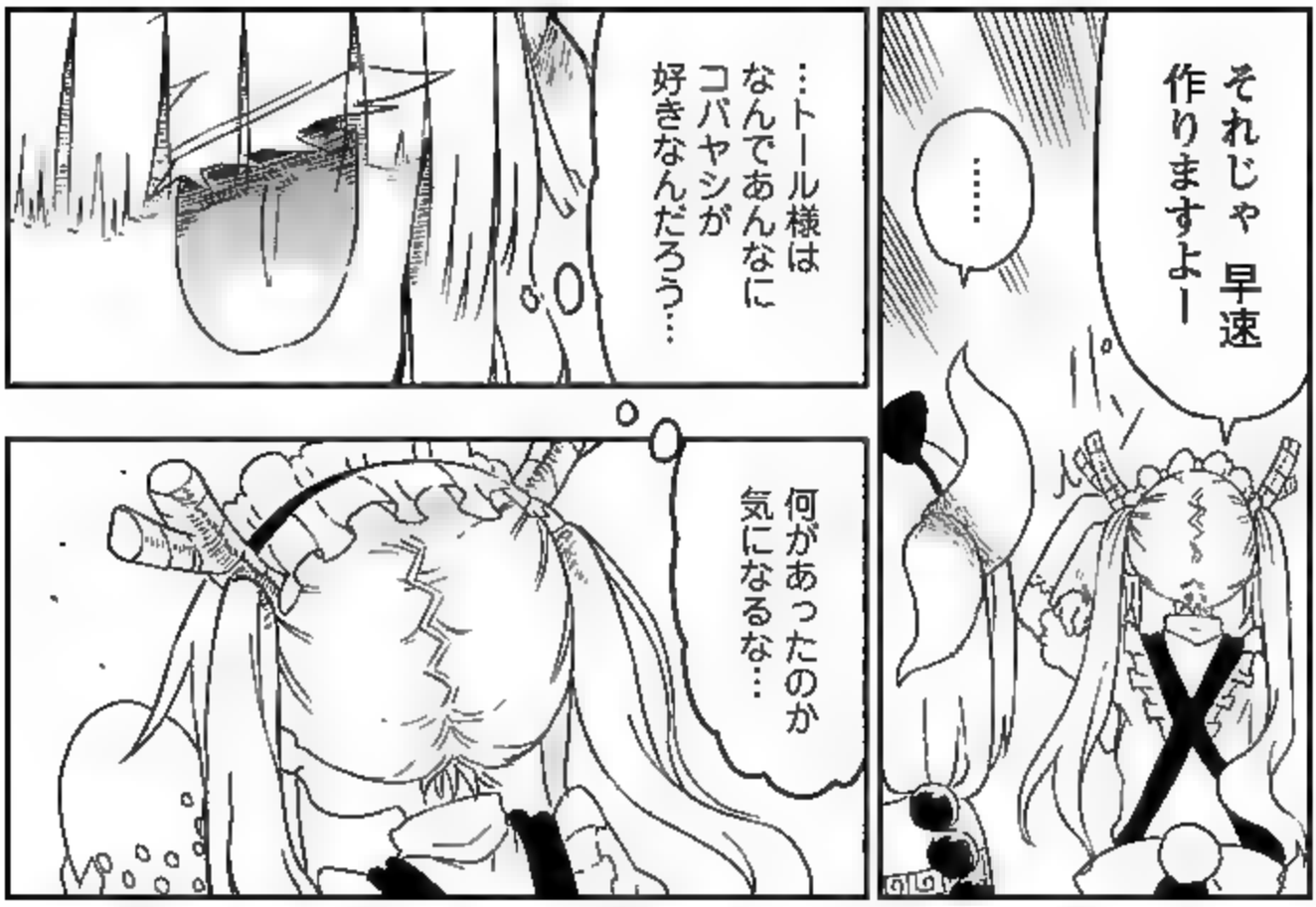
こ…これは…
オムライスの食材です
も 戻ったの？
一瞬だけ…


卵 大きい…
これ何の卵？
グリンカムビの卵ですよ

あのヴァルハラの目覚まし時計の？
ええ
死んだエインヘリャルから話を聞いたところ非常に美味だとか
あれウソうまいよ
まじか


この水は？
それは…
ちゃぷっ
エルフの里の湧水ですね
それで米を炊こうかなと
ただエルフとは一戦やらかしてるのでこっそりもらいました
それ殺されても文句言えない

他には牛魔の肉とかあっちにしかない果物とかですかね
米とか野菜とかは？
小林さんはこの国のものの方がいいかなぁと…
へー
確かにこの国のご飯はおいしいかも…
ヒンシュカイリョーとかいう魔法を使ったものらしいんですが…
今度 詠唱術式を教えてもらいましょうかね


それじゃ 早速
作りますよー
……
…トール様は
なんであんなに
コバヤシが
好きなんだろう…
何があったのか
気になるな…

ほらカンナも
手伝って
下さい
はーい

…あー
疲れた…
今日の晩メシ…
あ そういえば
オムライス
頼んだっけ…

確か…
トールが私に
初めて作って
くれた料理も…
オムライス
だったな…

「料理なんて
できるの？」と
聞いた私に
自信満々に
出してさ
おいしいでやんの
私が作ったのよか おいしい
普段 変なモノばっか作るくせに

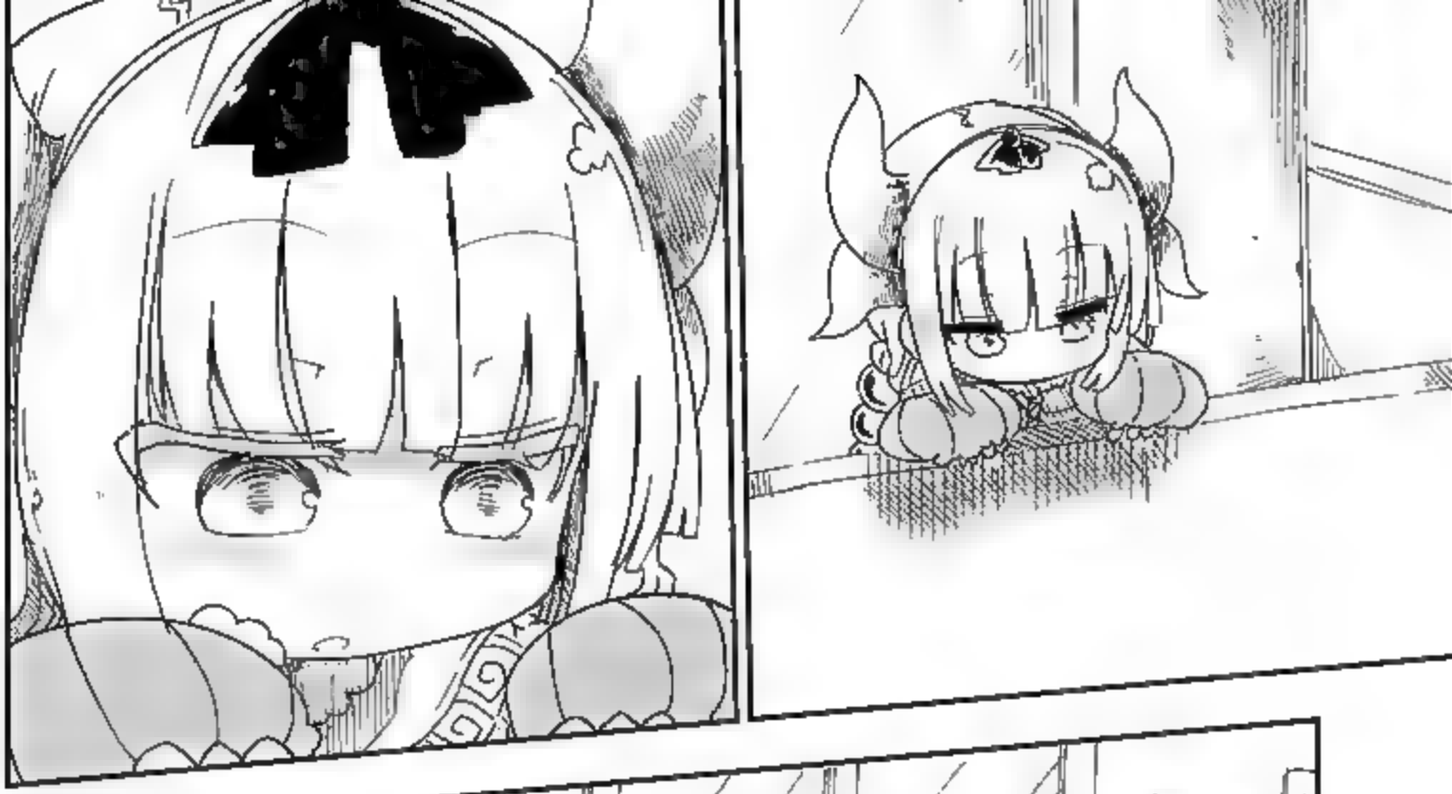
考えてみれば独り立ち
してから 誰かが自分の為に
ご飯を作ってくれたのなんて
久しぶりだったんだよな…
私がズボラだから
手間のかかるもの
作ってなかったし…

あの時は
まぁまぁだねなんて
言っちゃったけど
ガチャ
ただいまー
今日はおいしいって
言ってあげよう
あ おかえり
なさい
小林さん!!
どんッ
丁度できましたよ
オムライス!!
そのオムライスは
おいしかったけど
いろいろつっこんだせいか
私はまたおいしいって
言いそびれた

つーか重多いよ!!
うっぷ

小林さんちの
メイドラゴン

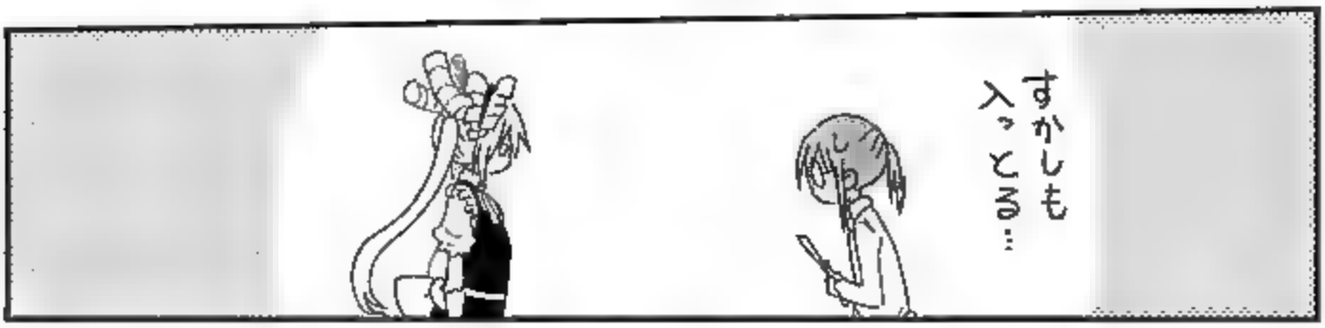
第13話 カンナと学校



ワイ
ワイ

最近 よく眺めてるけど…もしかして学校行きたいのかな
学校？
ああ 最近漫画で見ましたドラゴンって題名にあるのにドラゴンが出てこないやつで
『ドラゴン桜』か
もし行きたいなら行かせてあげたいけど…
あんたら戸籍もないしなぁ…
コセキ？どういうものですか？

こういう 私は
ここにいますよって
紙のことだよ
できました
あとはこんな感じの
住民票とか
適当に在学証明書と
教科書給与証明書？
できました


すかしも
入っとる…

カンナちゃん
ちょい
ちょい

かわいいー
どこから
きたのー？

転校生の
小林カンナ
ちゃんです
小林カンナ

ウシシル島…
外国!?
すげー!!

どうやら挨拶は
うまくいってる
ようですねー
カンナを
見ていて
やって
ふふふ…
まかせてください
小林さん
トールさんは
断れないのです
カンナは
人見知り
ですから…
うまく
できるといい
ですけど…

はい 今日は
ひっ算をしますよ
小林さん
この問題
できるかな？
退屈な
問題ですねぇー
カンナはこんなこと
したかったんですかね

はい
正解です

同じ場所で
同じものを学んでも
個人差が出る
でしょうし…
これって非効率じゃ
ないんですかねー
能力に合わせてクラスを
替えていったほうが
成長早まるんじゃ
ないかと…
塾のような
考え方である
……

どうやらボールを
ぶつけ合う競技の
ようですね
野蛮な人間らしい
競技です
ビュッ
ギャッ
ドチョー
容赦ない
ですねー…

すごーい
なんでも
できるんだ！
小林さん！
カンナちゃんて
呼んでもいい？
力のある者を
異物とするか
仲間に取り込むか
やはり幼かろうと
人間ですね

ちょっと
あんた！
何してんの!?
!?
やば

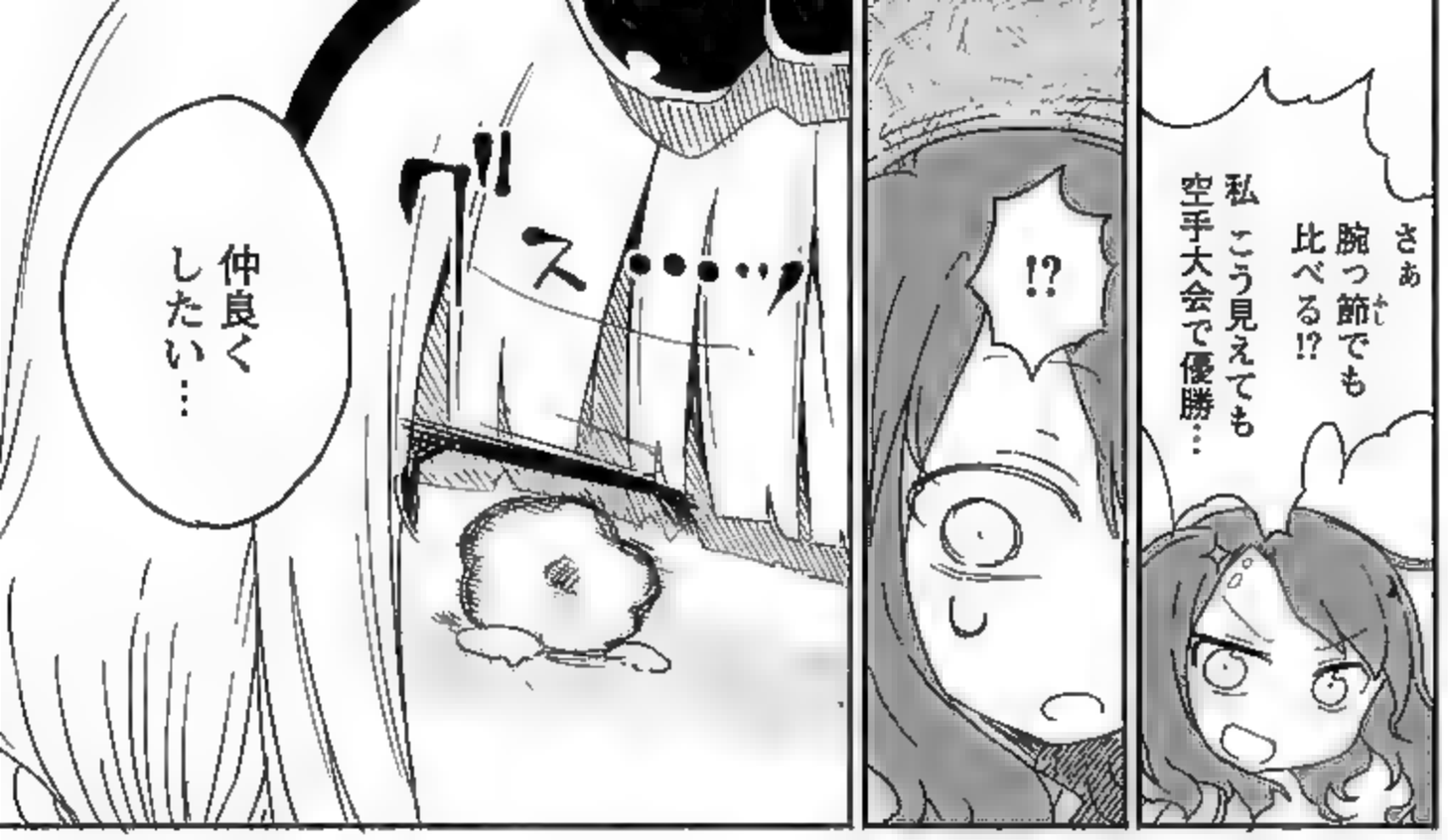
カンナ…
しっかり
やるん
ですよ…！
待て
不審者あ!!

ちょっと
小林カンナさん！

？
あなたちょっと
目立ちすぎじゃない？
転校生はもっと
慎ましくしている
べきじゃないかしら？
ドン
うわっ
出たぞ クラスの
女王気取りの
才川だ！

目立ってる？
目立ってるわ！
その服とか
可愛すぎるし
才色兼備なんて
腹が立って
抱きしめたくなる!!

勝負よ
小林カンナ
さん！
私が上だって
わからせて
あげる！
ア
ア
ア
カンナちゃん
やめときなよ
才川さんは
ずるいし汚いし
負けを認めない
どうしようもない
人なんだから
ちょっとそこ
うるさい!!


さぁ
腕っ節でも
比べる!?
私 こう見えても
空手大会で優勝…
!?
グス……
仲良く
したい…

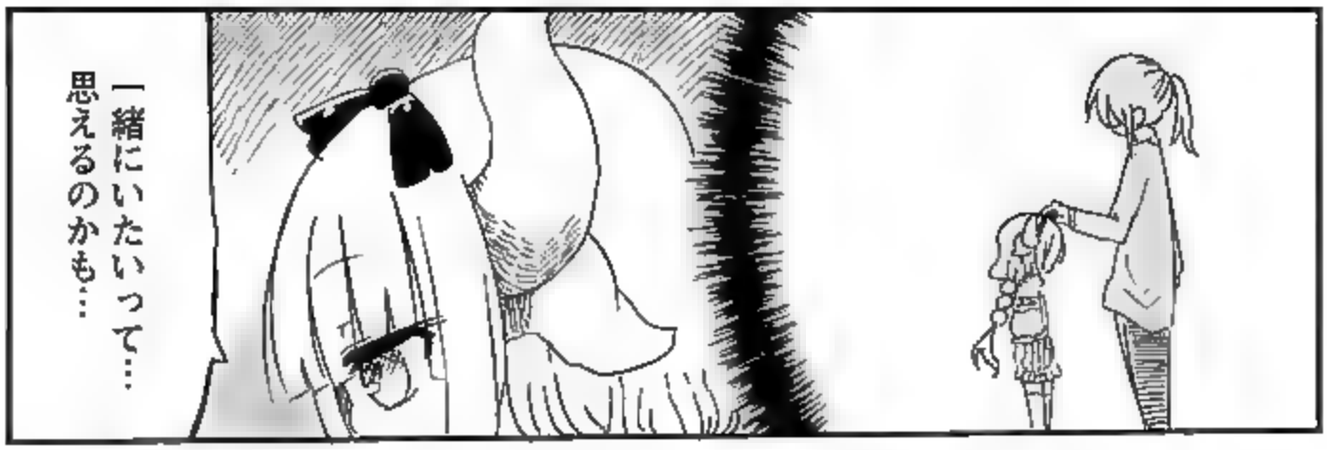
ごごめんなさい
私 そんなつもりじゃ…!!
わ 私その…
あなたと仲良く
なりたくて…!!
不器用
すぎんだろ…
泣かないで!
ほら飴玉
あげるから!
あー! 学校に
そんなもの
持ってくるなよ
お黙ん
なさい!

コロコロ
消し飛ばせばいいのに
カンナは頭が回りますね
うそなき
なんて…
ん…

どうして
学校に行きたいと
思ったんですか？
見てて
楽しそう
だったから
楽しかった
ですか？

うん…
楽しくないことも
あると思いますよ
うん…

私達は人間の姿に
ドラゴンを押し込めて
いるだけなんですから
別に人間と同じである
必要はないんです
共に暮らすことは
共に生きることでは
ありません
でも…
近くにいて
同じ時間の中に
いるから…


一緒にいたいって…
思えるのかも…

一緒にいる…
それだけで満足
できなくなって
共に骨を埋める
同胞もたくさん
見てきましたが…
そうですね…
そういう選択も
今では肯定できます

小林さんは
それだけ…

学校は
どうだった？

楽しかった
それは
よかったね
はい これ
？
入学祝い
だよ
ランドセルとかに
つけとくといいよ
じゃらっ

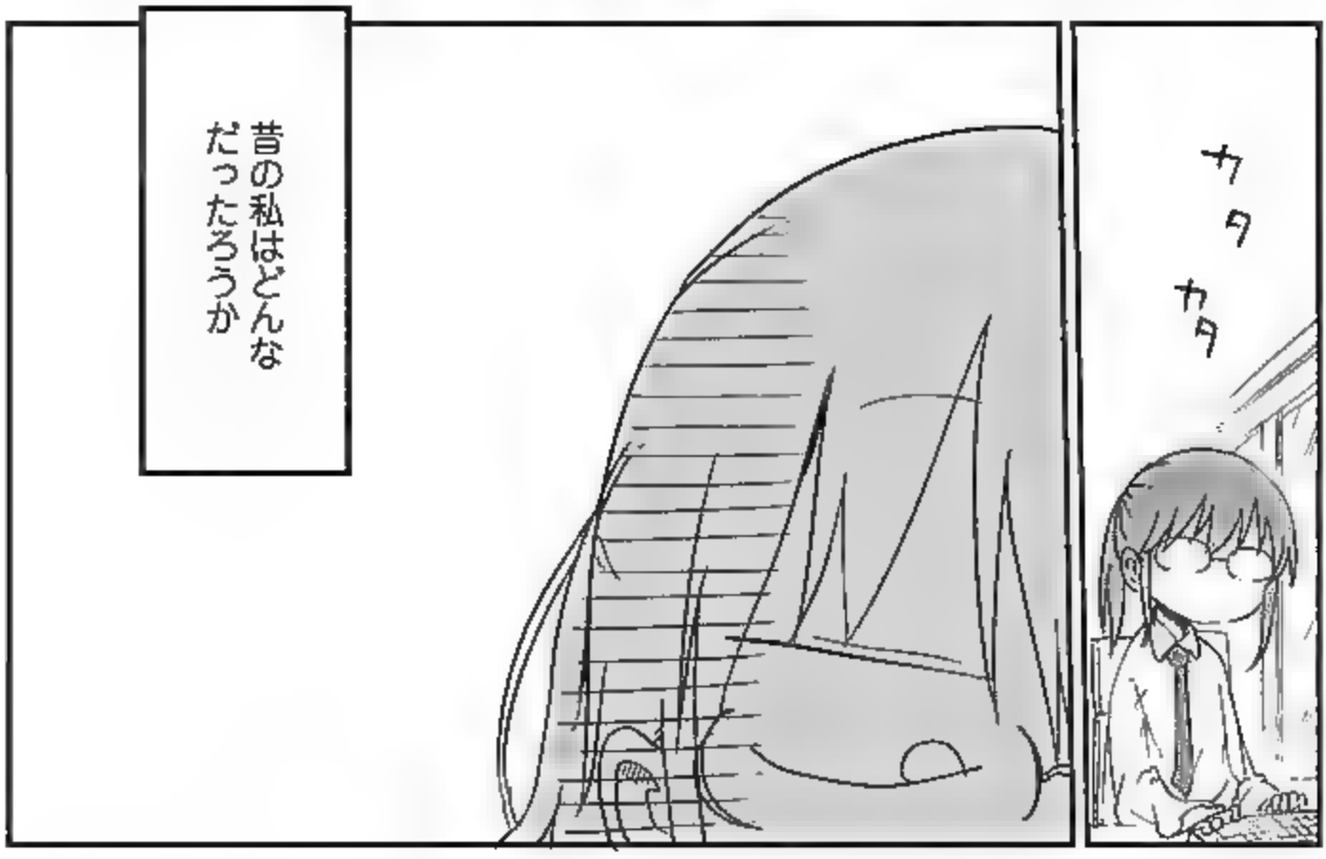
キュッ
トール
にはぁ!!
ねぇ 小林さん
トールには!?
ほら
缶コーヒー
やったー!!

あーん
毎日アメ
あきるわ…

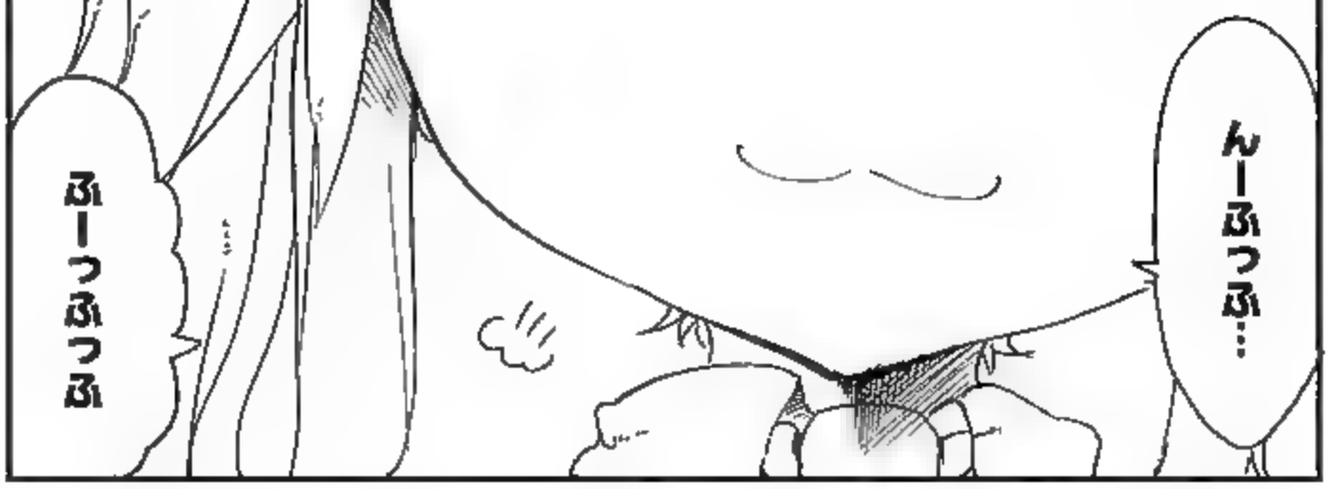
小林さんちの
メイドラゴン

小林さんって
最近明るく
なりましたよね

え？
そっすか？
前はもう少し
堅いっていうか
ストイックな感じ
あったんですよね
今は心に余裕が
あるっていうか
ははは


カタ
カタ
昔の私はどんな
だったろうか

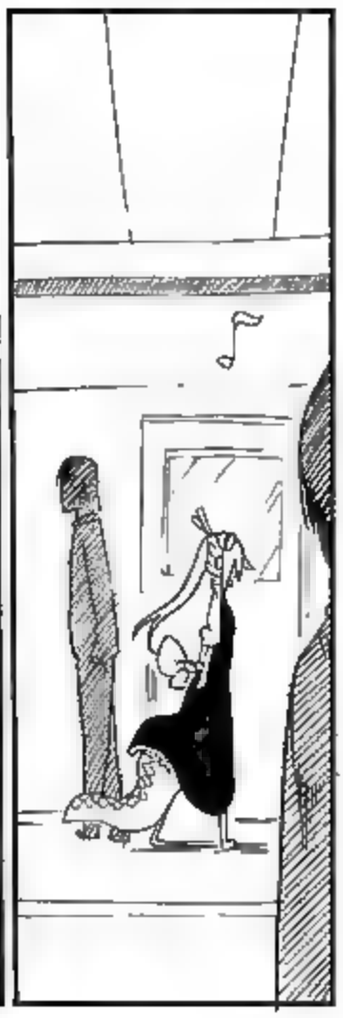
第14話 トールとデスクワーク


んーふっふ…
ふーっふっふ

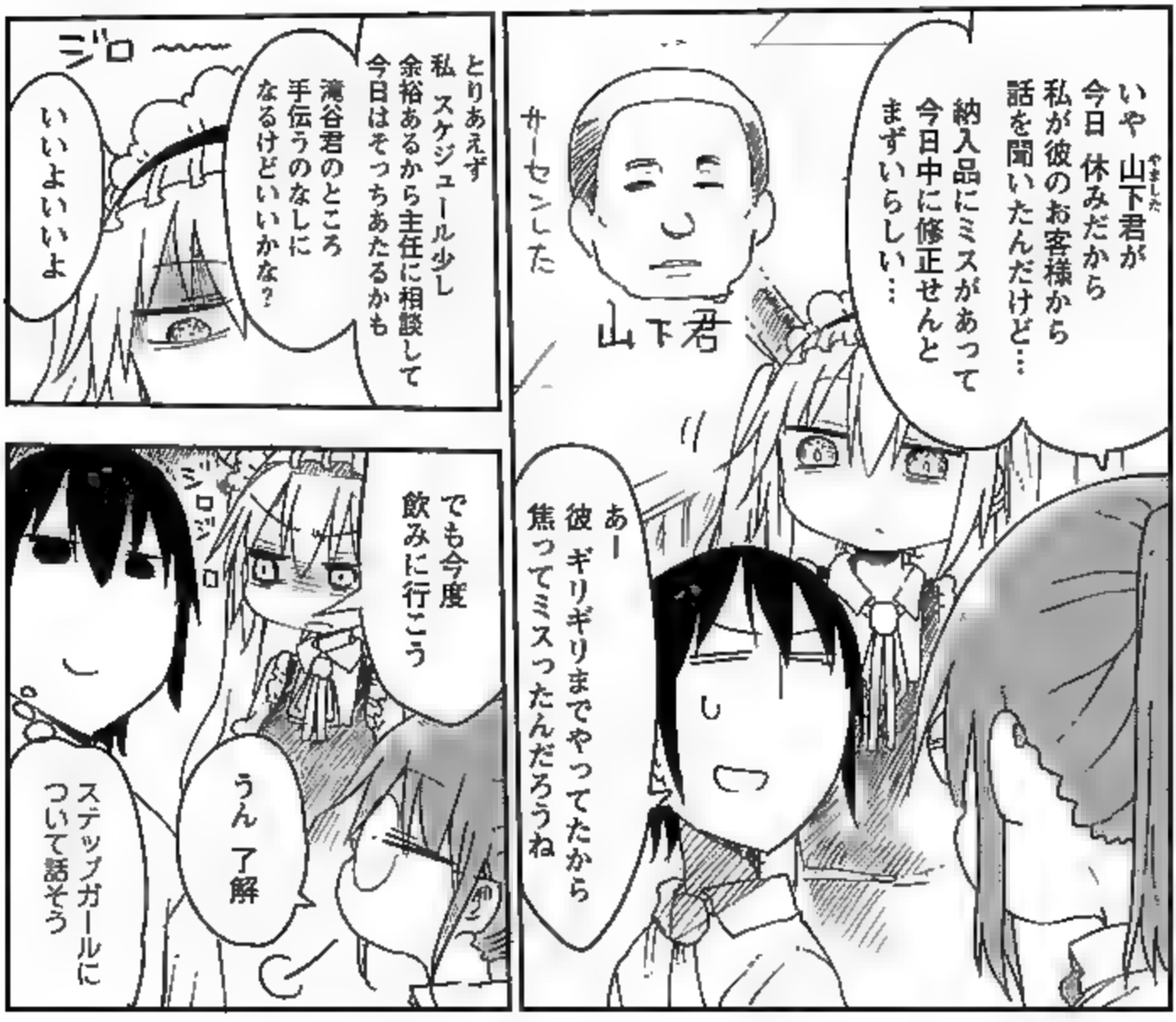
トールの
48のメイド技
「認識阻害」
相手の意識から
消え去る

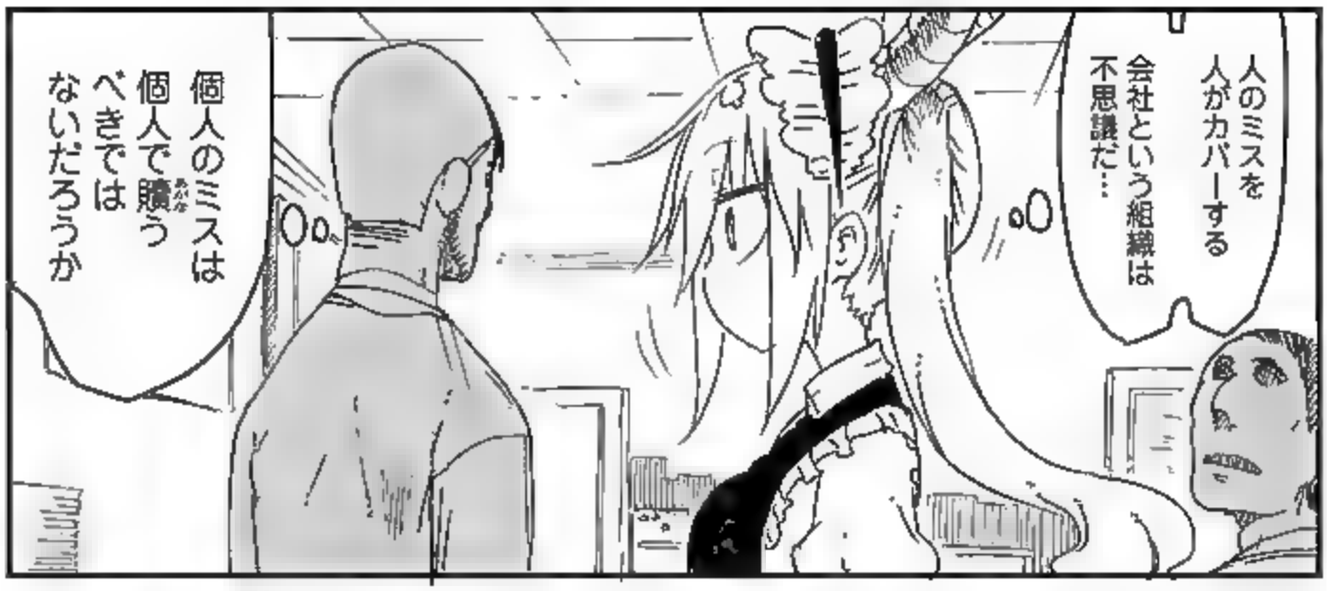
職場見学に
来ちゃいました
一度 小林さんの
お仕事してるところ
見てみたかったんですよね
カンナも
小学校に行ってる
今がチャーンス！

よし 今日は
ずっと見ていよう
あいたいた



はい はい…
はい 了解しました
それではよろしく
お願いします
失礼しますー
ピ
うーむ
どうしたの
小林さん？
ゲエ
滝谷


いや 山下君が
今日 休みだから
私が彼のお客様から
話を聞いたんだけど…
納入品にミスがあって
今日中に修正せんと
まずいらしい…
サーセンした
山下君
あー
彼 ギリギリまでやってたから
焦ってミスったんだろうね
ジロ～～～
とりあえず
私 スケジュール少し
余裕あるから主任に相談して
今日はそっちあたるかも
滝谷君のところ
手伝うのなしに
なるけどいいかな？
いいよいいよ
ジロジロ
でも今度
飲みに行こう
うん 了解
ステップガールに
ついて聞こう


人のミスを
人がカバーする
会社という組織は
不思議だ…
個人のミスは
個人で贖(あがな)う
べきでは
ないだろうか

身を寄せ合って
助け合い たくさんの
ことを人間は
成し遂げるけど
そんな文明なんて
ドラゴンはいくらでも
滅ぼせる…
だからドラゴンの
方が上って思うのは
ありですかねー

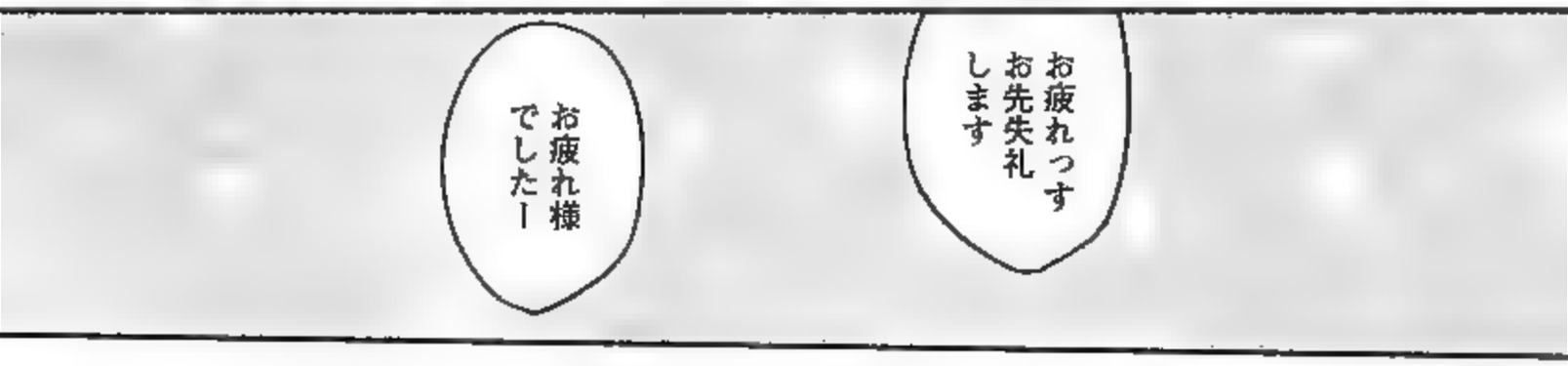
…
……
え!?
認識阻害
してるはず…
バ…
バレて
ないです
よね…?
……

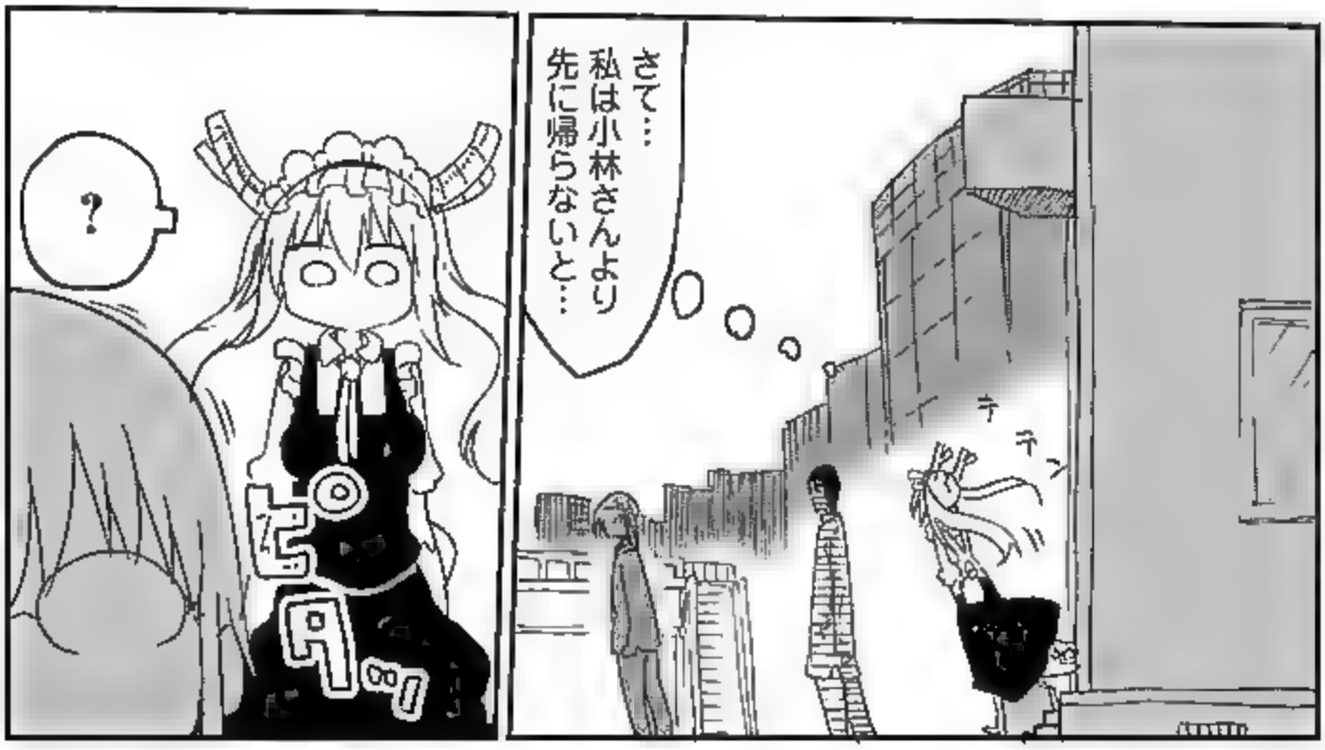
それにしても
小林さんは
よく働くなぁ
カッコイイ…
いろんな人から
頼られてる
感じがする

小林！
あのコピーは
どうなってる!?
あー
まだっすね
何やってんだ
使えないやつだな
!?
あ？
なんだあれ
課長
また小林さんに
絡んでる
自分の仕事
押し付けて
ああやって
いびるのよー
小林さん
かわいそ…
ぐぬぬ
優先度的に…
口答えするな
女が働けるのが
気に食わない
旧態依然とした
男尊女卑だわ！

とにかくお前はもっとやる気を出せよ！
はいはい
ペッ
あースッとした
ドゥ
やめい
ブッ
ドゥ
ドゥ
ドゥ
ドゥ

何か今日の課長ついてないな
……！
ヨロッ
？
？


お疲れっす
お先失礼します
お疲れ様でしたー


さて…
私は小林さんより先に帰らないと…
テテテ
？
ピクッ

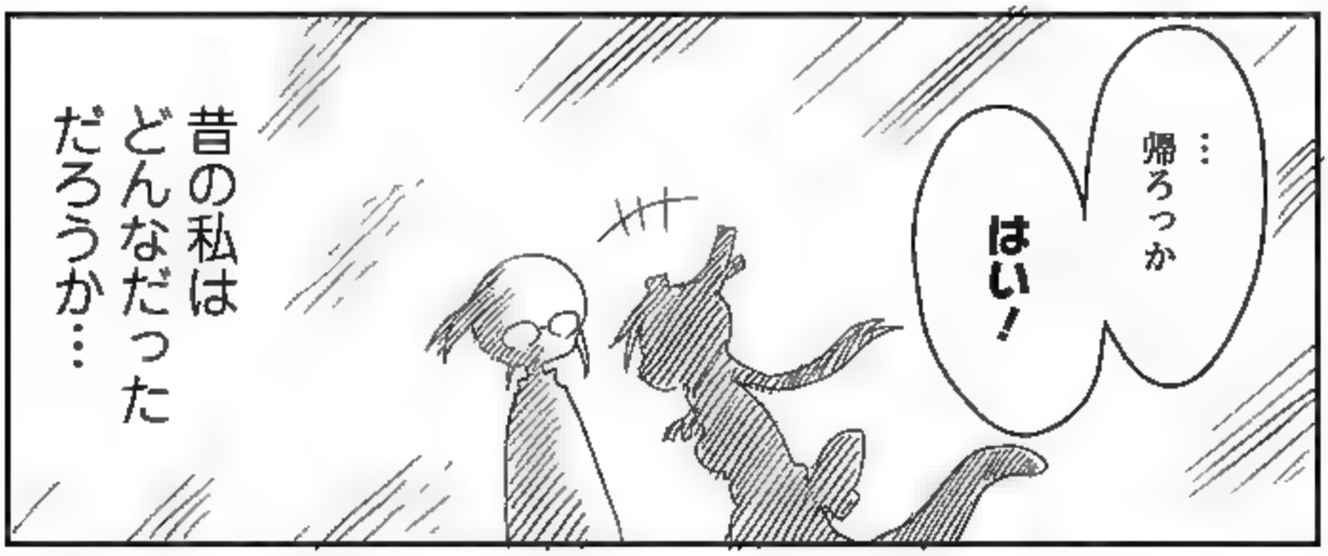
トール
いるでしょ？

え!?
あ…え…
なんで…
ビクッ
うお！
本当に
いた!?

なんで
わかったん
です？
そんな
気がした
だけだよ
トールはカンナちゃんに
手もかからなくなって
暇な時間 増えたからね

まったく
私の職場
覗いても
退屈だった
でしょ？
そんな
ことは
ないです！

知りたかったんです…
小林さんのこと…
もっと…！
ん…
そう…


…
帰ろっか
はい！
昔の私は
どんなだった
だろうか…

もう忘れたな…
あーでも
課長に対する
アレはやめな
時がきたら
課長はパワハラで
私が訴えるから
第14話 おわり

課長パクったうどりだになったそー
証拠の録音のテープ
社長に送りつけられたとか
一体誰が…
フ・

小林さんちの
メイドラゴン

フンフフーン♪
キシ…

今日はたまたま
格安でレタスが
買えました…
浮いたお金で
カンナにお菓子
買いますか…

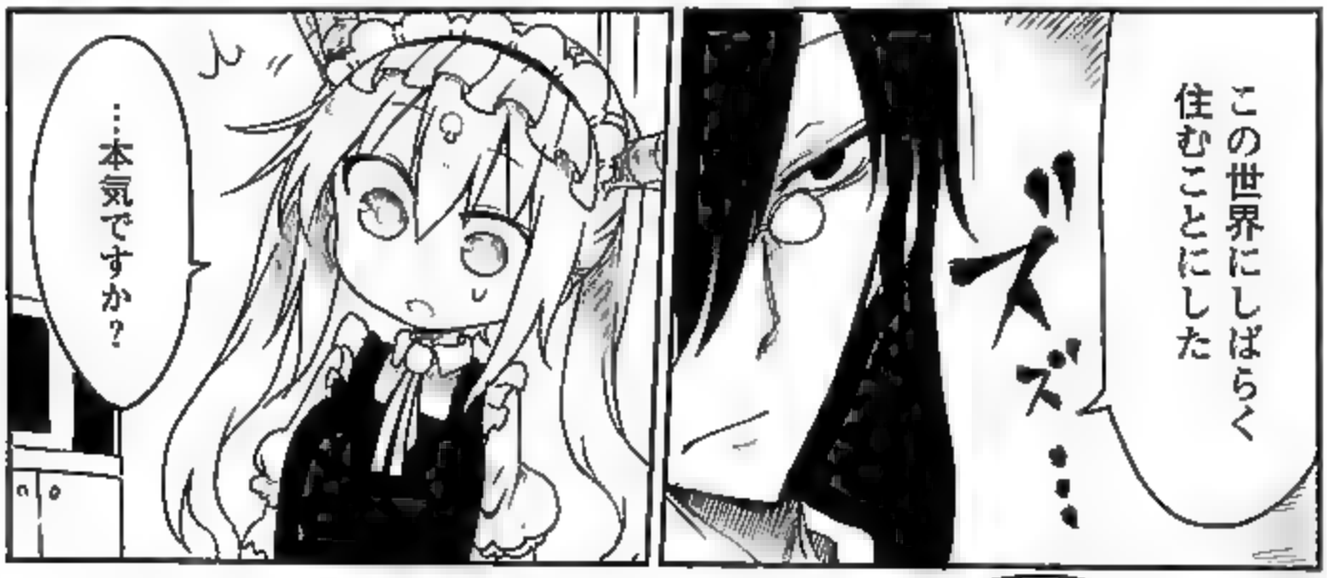
…おや？
あれは…

ファフニールさん！
オオオオオオ…

第15話 トールと家探し

驚きましたよ
道の真ん中で
ポーッとしてる
なんて…
ああ…

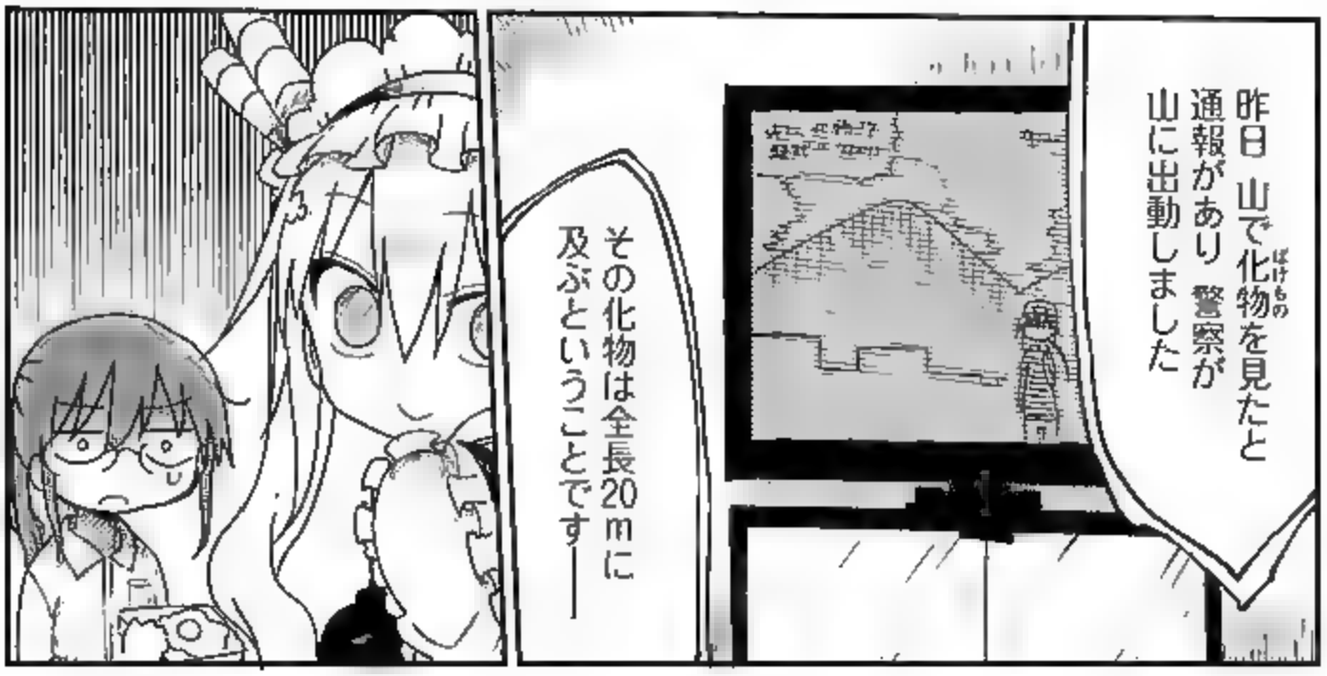
一体
どうしたん
です？
ん…


この世界にしばらく
住むことにした
ズズ…
…本気ですか？

正直
あまり
オススメ
できませんよ
人と共に
暮らせ
ますか？
お前ができるなら
俺もできるだろう
そりゃそうか…

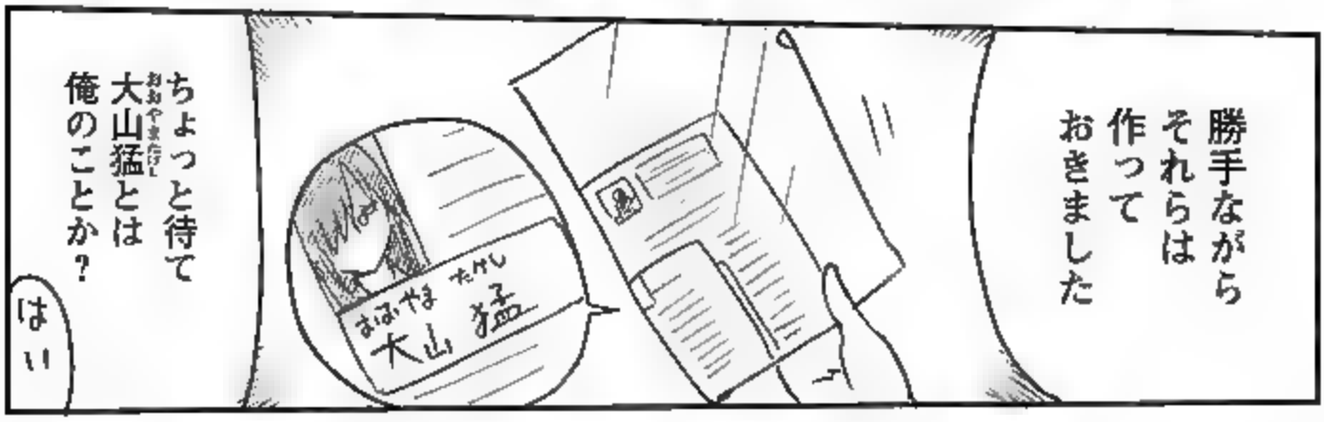
えっと…
それじゃあ
うちに…
ちらっ
あー
ブン
ブン
ブン
駄目みたいです
どこかアテは
あるんですかね？
そこらの山にでも
住むさ
ではな
はーい

翌日


昨日 山で化物を見たと
通報があり 警察が
山に出動しました
その化物は全長20mに
及ぶということです——

何？ 目立つな？
何故 俺が人間に隠れてコソコソせねばならん
いっそのこと滅ぼして…
いいですからそういうのいいですから
わかりました
私がファフニールさんのお家…
探しましょう！
フン
お手並み拝見といこうか

こう見えても私は
日々 この世界のことを
勉強しているのです
ほう…
コセキと
ジューミン
ヒョーを
作って
ギンコーの
コーザと
インカンも
作って
ワケが わからん…
フドーさんと
いう人に見せるん
ですよ


勝手ながら
それらは
作って
おきました
大山猛
ちょっと待て
大山猛とは
俺のことか？
はい

ドラゴンに
なった姿が
大山猛みたいな
感じでしたので
……
かぶれすぎだな
え？

今のお前は
人間に
寄りすぎ
ている
元の世界に
戻ったとき…
お前は人を
殺せる
のか?
……
元の世界に
戻る気は
ありません
今はここが私の
居場所ですから
…百年やそこらで
お前が愛着を持つ人間は
死ぬのだ
だったら…
私は…
平気です

今この瞬間
ここにいるのを
大事にすれば

それだけ
悲しくも
なるでしょう

だけど
私は…

その気持ちを
後悔とは絶対に
呼ばないと
思います

…お前に
そこまで言わせる
ほどの価値が
あるのか？

この世界に？

ありますよ

小林さんが
いますから

……フン
いいだろう
フドーサンとやらに
会わせろ
はいはーい

君はよく
商店街に
現れるメイド
じゃないか
予算は
どんな
ものかな？
金か…

これで
チャリ…
……

うちは質屋じゃないんだぜ

フドーさんも駄目でしたね
仕方がないな適当な家を奪
駄目ですよ

換金所もないようでは案外この世界の文明も程度が知れるな
それなんですが…
やはりファフニールさんは元の世界で暮らしていた方がいいんじゃないですか？
この世界じゃ気の合う人間がいないと住みづらいでしょう

ファフニールさんが
大丈夫な人
いましたよ!

人間…?

ほら一度
会ったじゃ
ないですか

む…

滝谷さん
実は――
――というわけで
――
うわー既に変な
モードだー
あ クリスマスの
時のアイツか
こんなの
なるほど ここへは
小林殿に教えられて…
いいでヤンスよ
！

ここはちょっと
狭いでヤンスが
かまわないなら
いいんですか？
言っちゃなんですが
この竜かなり
危ないですよ

なぁ この前の…
ゲームで
やんスか？
うず…
うず…
ほかにどんなものが
あるんだ…
いろいろ
教えろ
いいで
ヤンスよ
何しにこの世界に
来たんだこの人…

第15話 おわり

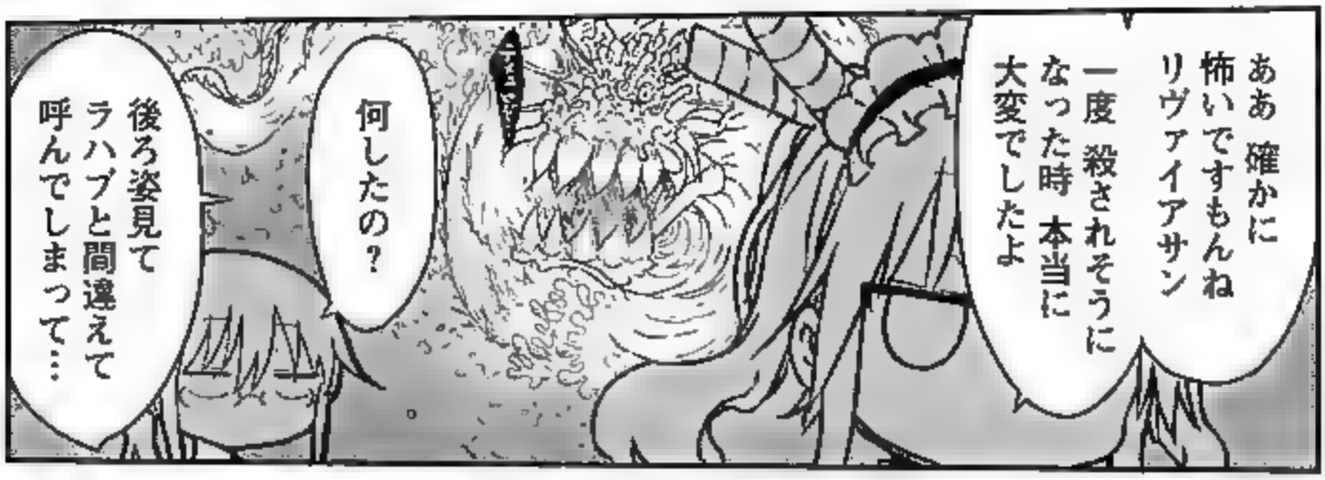
なんだ、って!?
勝てんぞ!?
はぁ!?
ゲームやめて
ゆかり飯
作って

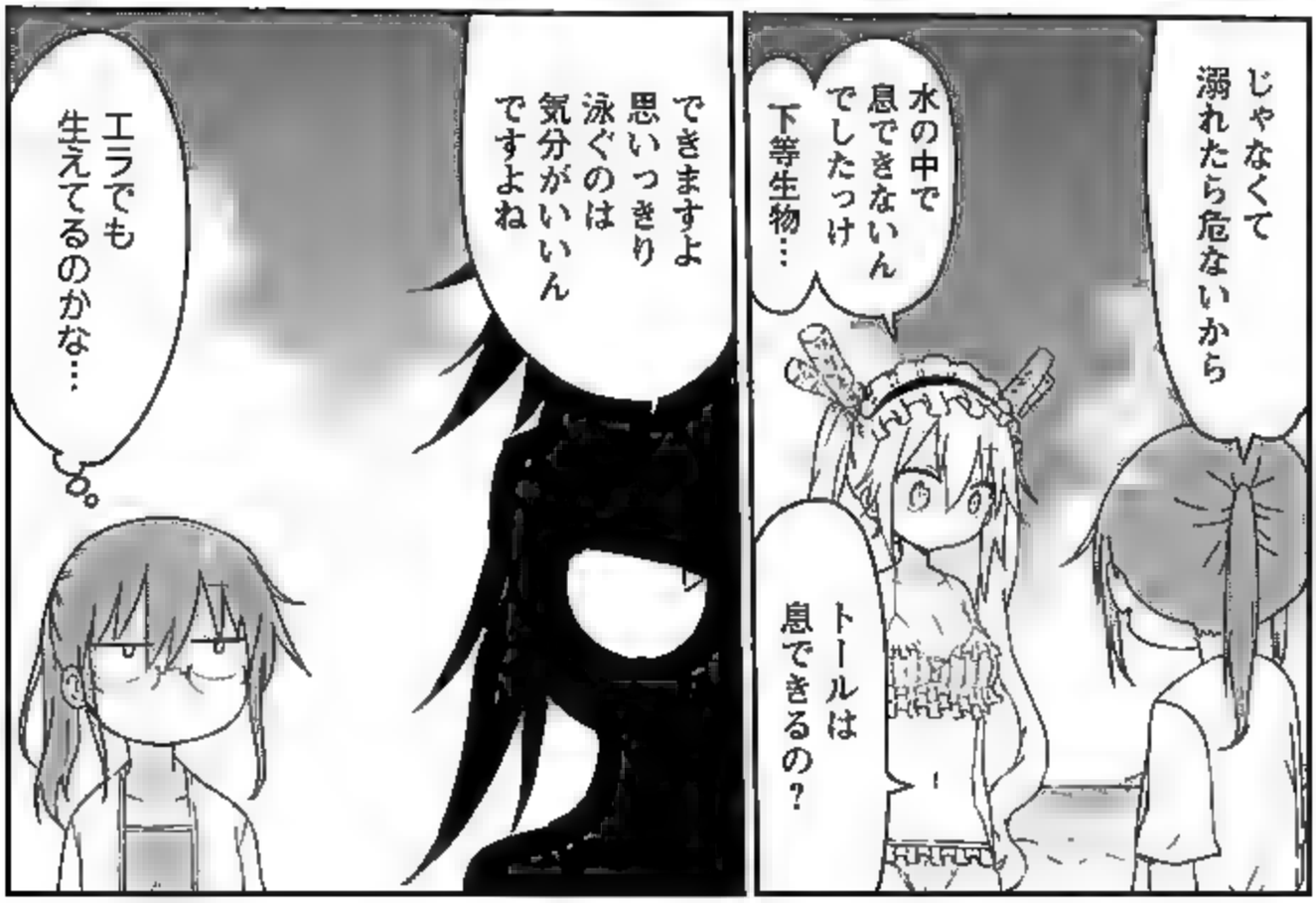
小林さんちの
メイドラゴン

夏場ということで
海に遊びにきました
ザザァ…
海ってあんまり
好きじゃないん
だよねー
小林さん
ったら
またまたー
だって海って
暑いし
日焼けするし
砂が鬱陶しい
でも
ちゃんと
来てるじゃ
ないですか
おー
それはまぁ…
夏場で特に
することもないし
皆と行って
みようかなーって…
知ってますよ それ
ツンデレって
やつですね
わかりました
いや違うツンデレって
いうのはいつもはツンツン
してるけど2人きりのときに
デレるみたいなそういう意味で
いや原理主義ってわけでもないけど
最近のはデレたらデレっぱなしだと
感じなくもないわけでさ
ぷにっ

第16話 トールと海水浴

…なんで
みんな浅瀬で
遊んでるん
ですかね？
深いところの
方が思いっきり
泳げますよ
沖は危ないよ

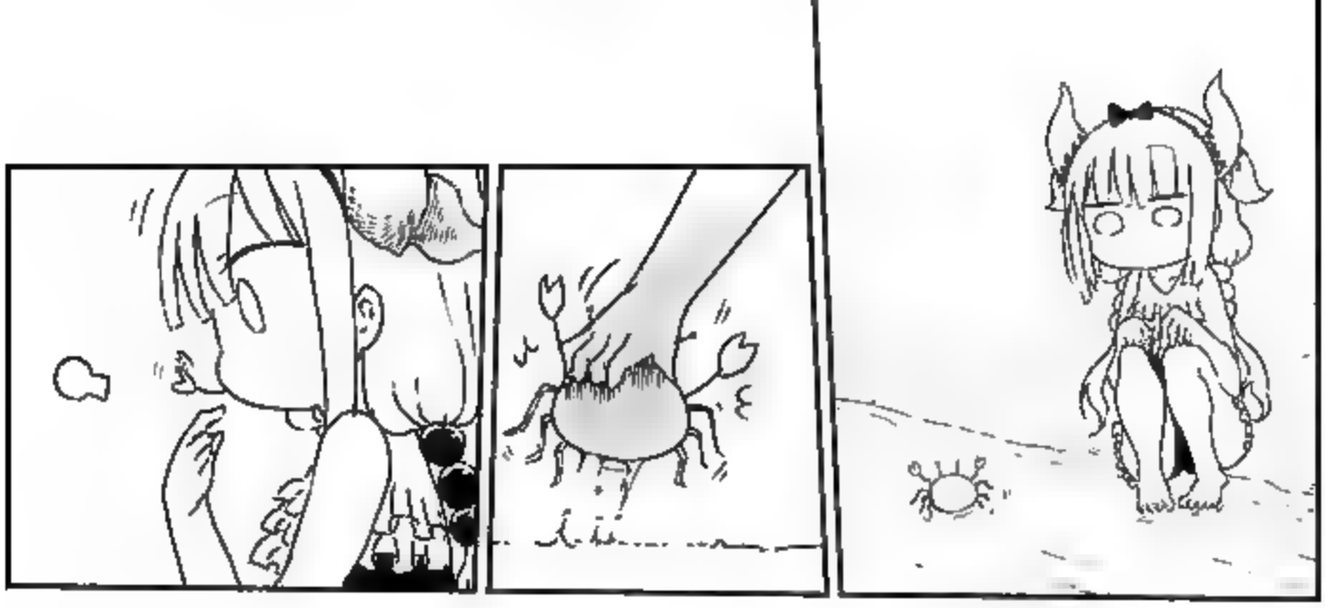

ああ 確かに
怖いですもんね
リヴァイアサン
一度 殺されそうに
なった時 本当に
大変でしたよ
何したの？
後ろ姿見て
ラハブと間違えて
呼んでしまって…


じゃなくて
溺れたら危ないから
水の中で
息できないん
でしたっけ
下等生物…
トールは
息できるの？
できますよ
思いっきり
泳ぐのは
気分がいいん
ですよね
エラでも
生えてるのかな…

あ そーだ
小林さん
日焼け止めクリーム
塗りましょうか？
身体
触りたーい
着替えてる時
塗ったけど…
ん？

どうしました？
いや 昔さ…
家族でこの浜
来たことあるんだ
あそこの海の家で
メシを食べたのを
思い出してね
親父さん一緒
だなぁ…って

…家族
トールにも
いるでしょ？
います…
尊敬できる
親だと思います



家族のこと…
もっと教えて
もらっても
いいですか？
え？
お願いします

そうだな…
たぷんうちは
普通の家庭
だったと思う
普通に育ててもらって
私は大学を出て
働くことにして
地元を出た
親とは電話で
時々 話して
近況報告して…
ああ しばらく
顔も見てないな
それが普通…の
人間の家庭ですか？
たぷん

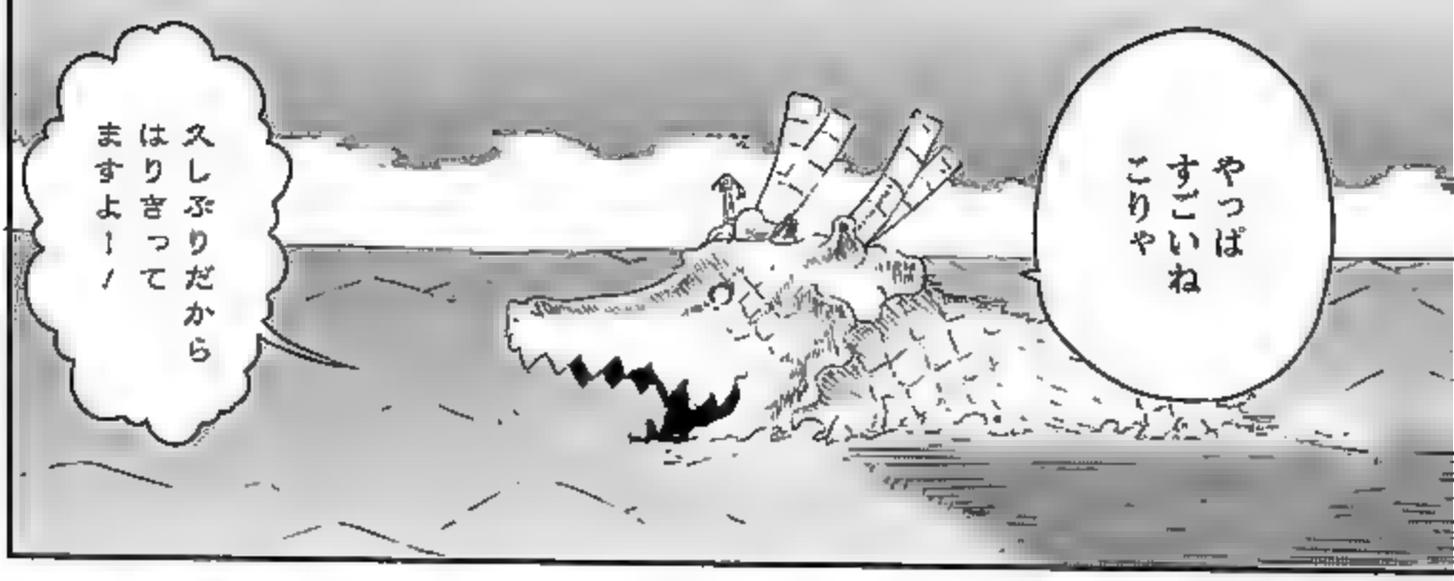
ならどうして…
小林さんは私を
受け入れられ
たんだろう

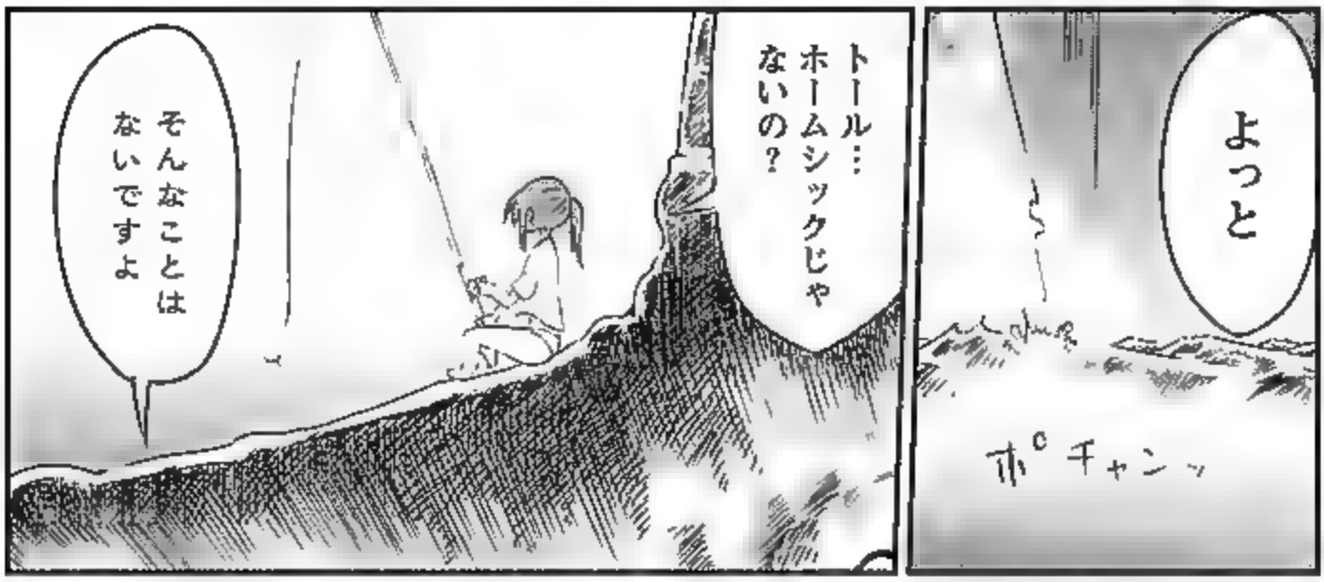
ただ普通に
生活して 普通に
生きてるだけの
人間の小林さんが
どうして…
それとも…

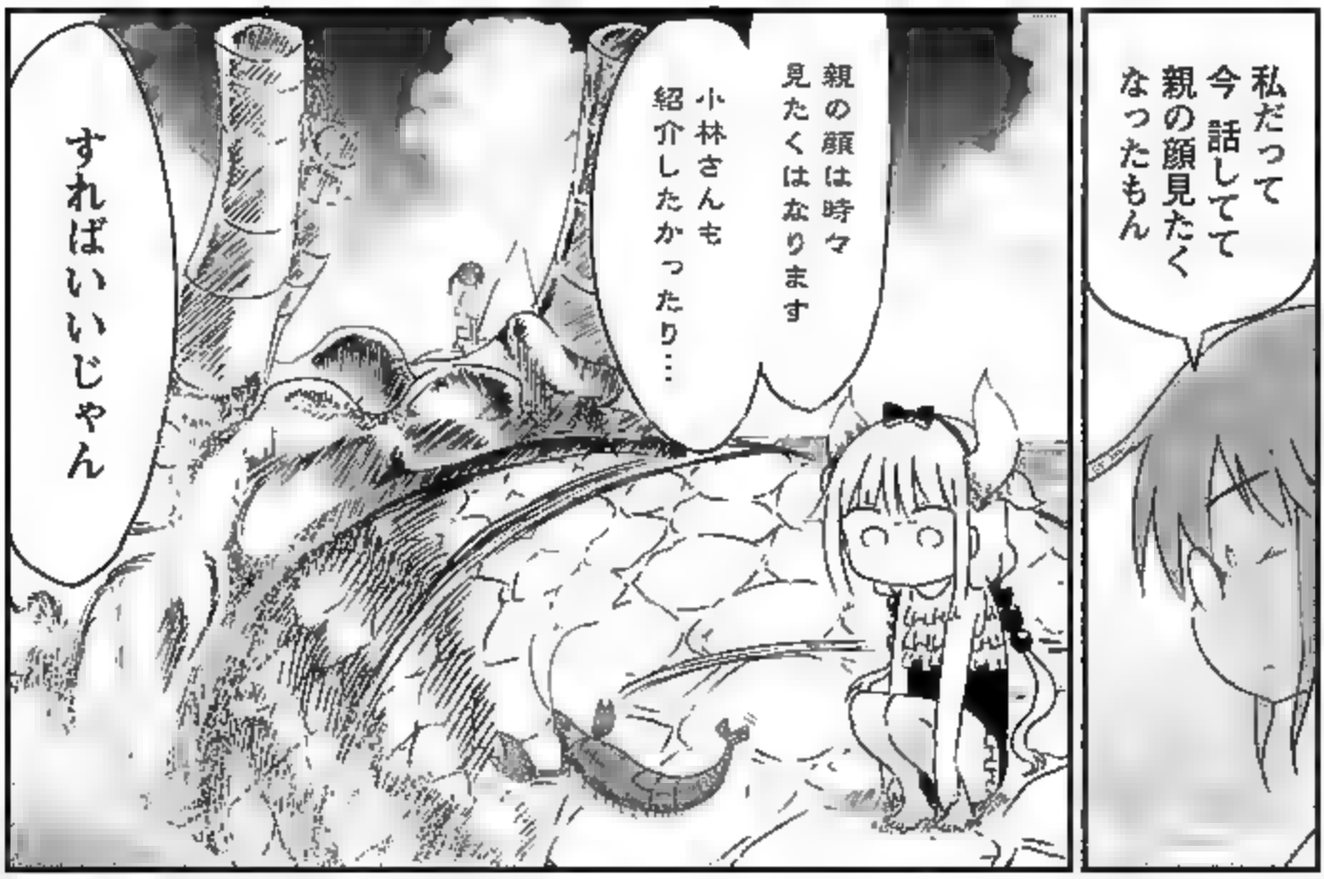
この世界の人間は
ドラゴンを受け入れ
られるのか…？
殺せ
人間は害悪！
皆殺しだ！
どうしたの？
トール
いえ…
なんでも
ないです
ただ…

なんでしょうかね…
気だるくなってきます
……
ねぇ トール
乗っていい？

おおおおお!?


やっぱ
すごいね
こりゃ
久しぶりだから
はりきって
ますよ！！


よっと
ポチャン
トール…
ホームシックじゃ
ないの？
そんなことは
ないですよ

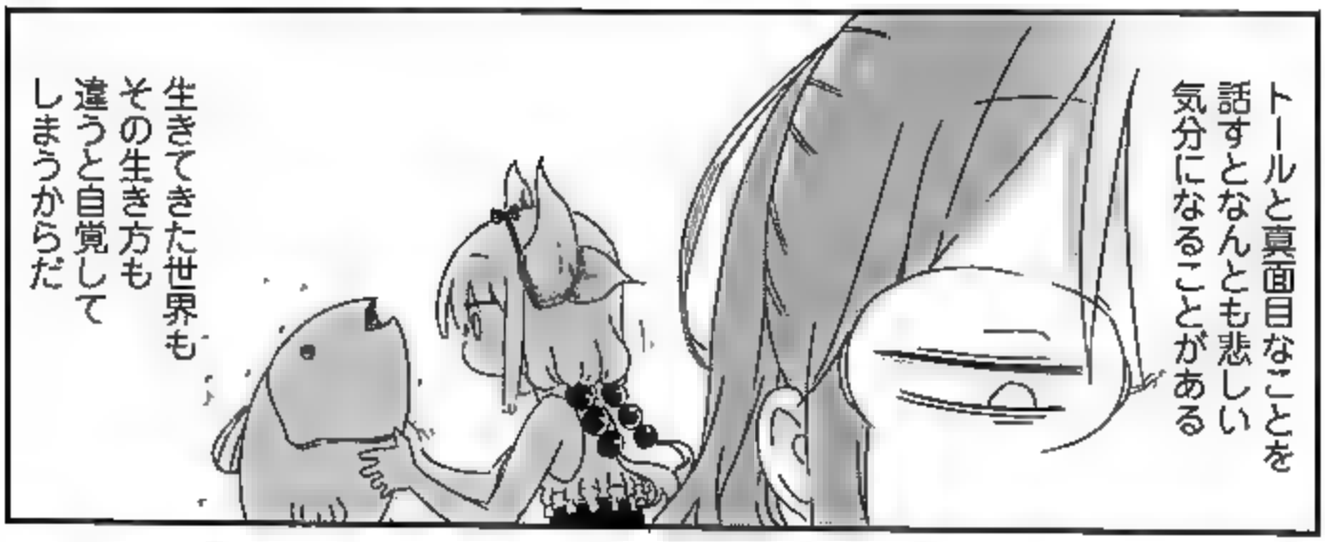

私だって
今 話してて
親の顔見たく
なったもん
親の顔は時々
見たくはなります
小林さんも
紹介したかったり…
すればいいじゃん

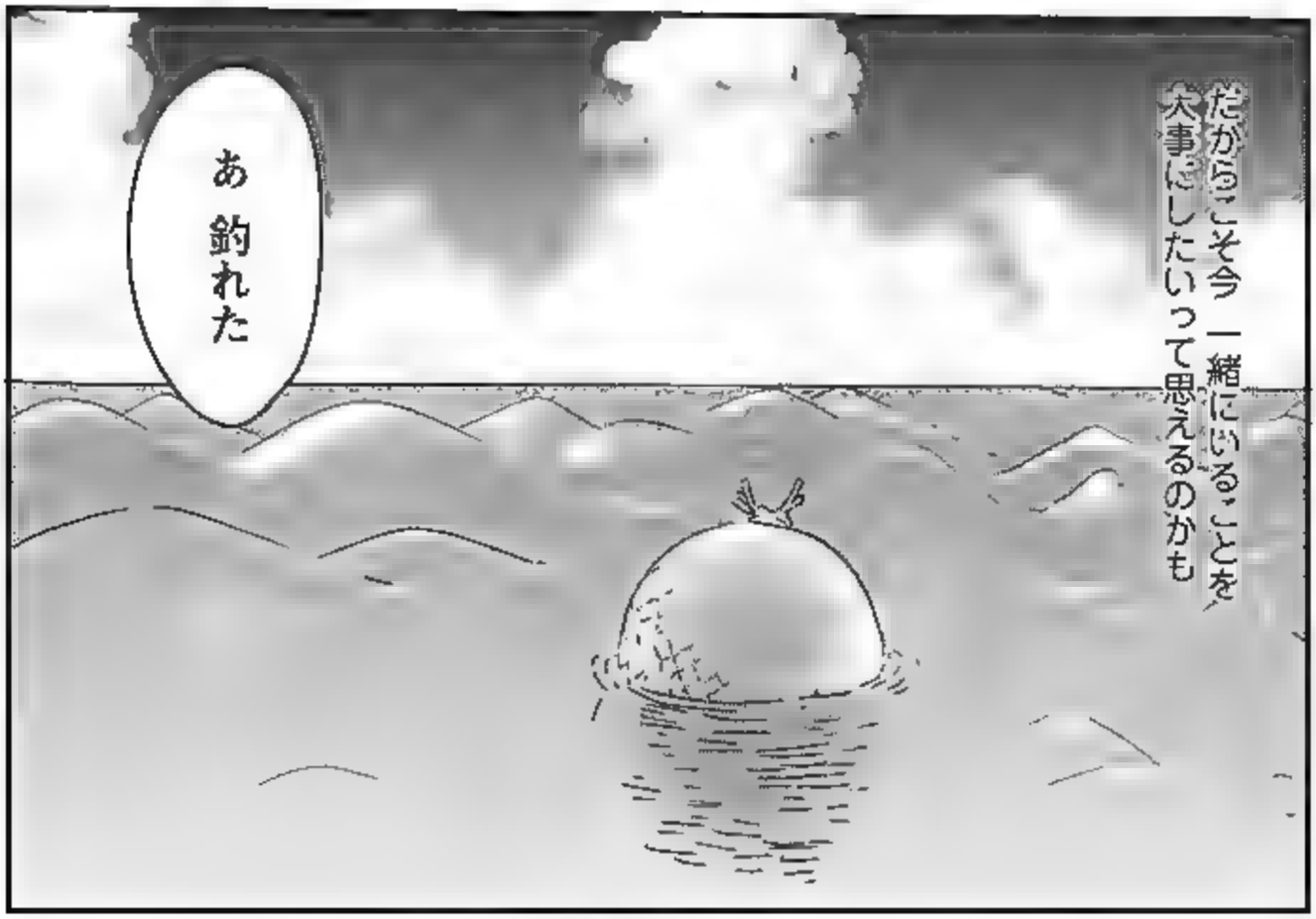
きっと殺されてしまうなって…

……
物騒だけど
それが本来の
トールの世界の
常識なんでしょ
そうです
両親から見たら
きっとおかしいのは
私の方でしょうね

悲しいですよ…
自立したって
ことだと思うな
大人ですか？

わかんないよ
だいたいの人って
大人になろうと
したんじゃなくて
子供で
いられなくなった
だけなんだから


トールと真面目なことを
話すとなんとも悲しい
気分になることがある
生きてきた世界も
その生き方も
違うと自覚して
しまうからだ


だからこそ今 一緒にいることを
大事にしたいって思えるのかも
あ 釣れた

小さい魚しか釣れなかった
ぴょ
ぴょ

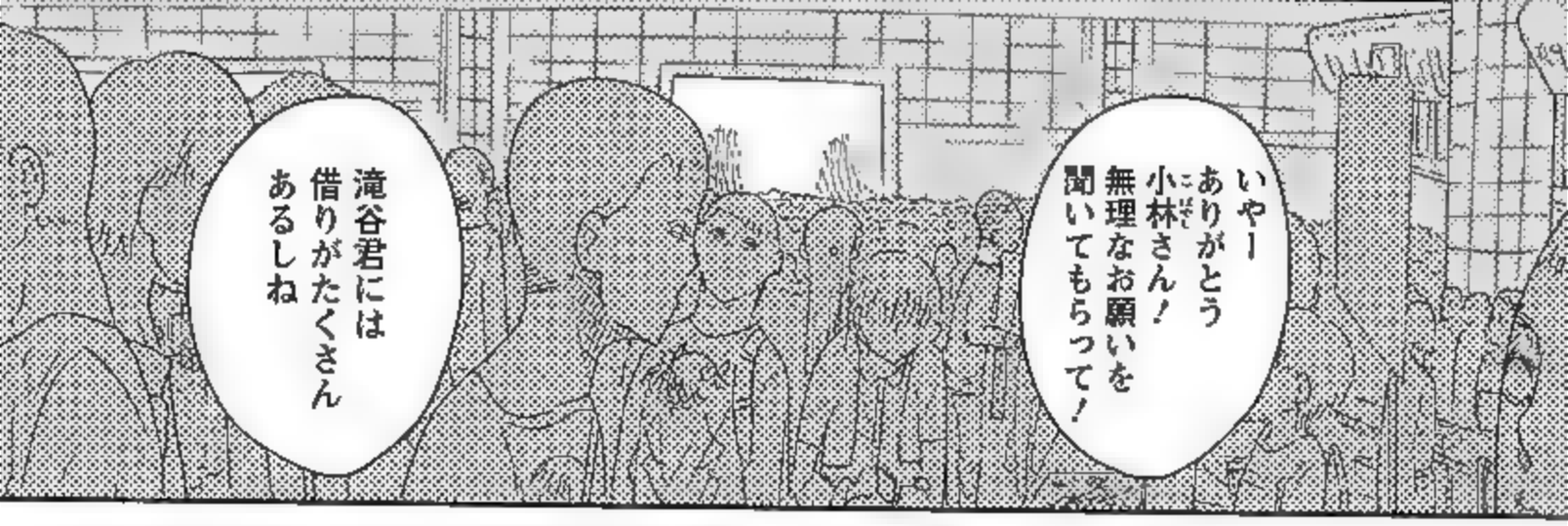
小林さんちの
メイドラゴン

うっわぁー！
なんですか
この人の数は
コミケってやつ

なんだって
こんなところに？
それは
滝谷君が
大手サークル
なんだけどさ

売り子の人が
流行り病で
2人とも来れない
みたいなんだ…
代わりを
探してるんだけど
頼めないかな？
——って…
私の力を
もってすれば
楽勝ですよ！
余裕で殲滅
できます！
するな！

17 トールとコミケ


いやー
ありがとう
小林さん！
無理なお願いを
聞いてもらって！
滝谷君には
借りがたくさん
あるしね

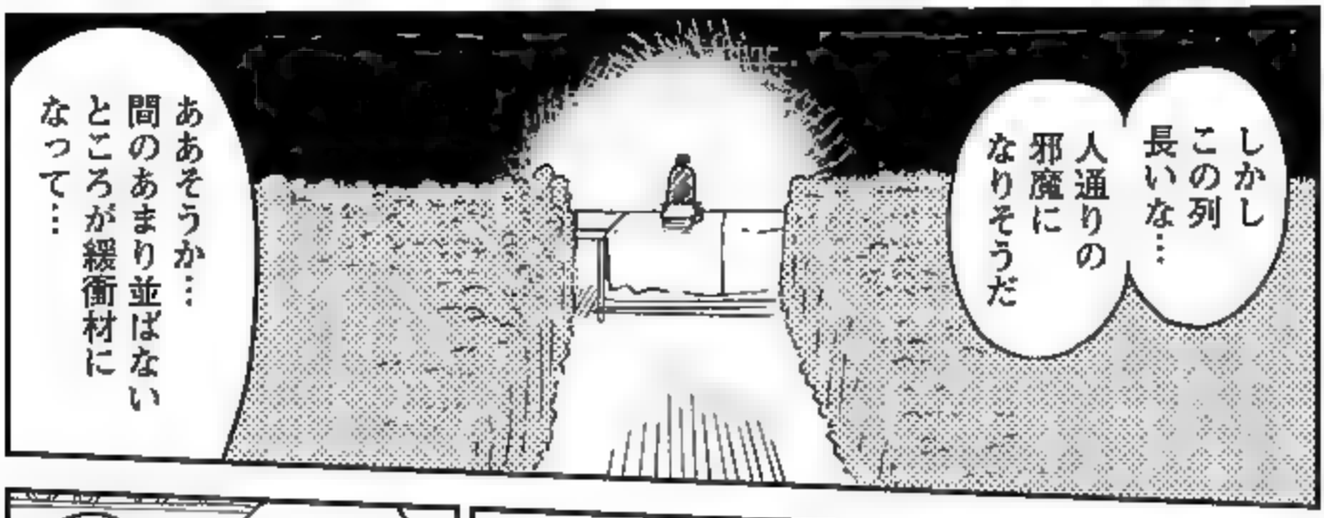
ファフニールさんは
声かけなかったんですか？
彼は
サークル
参加
してるよ
え!?

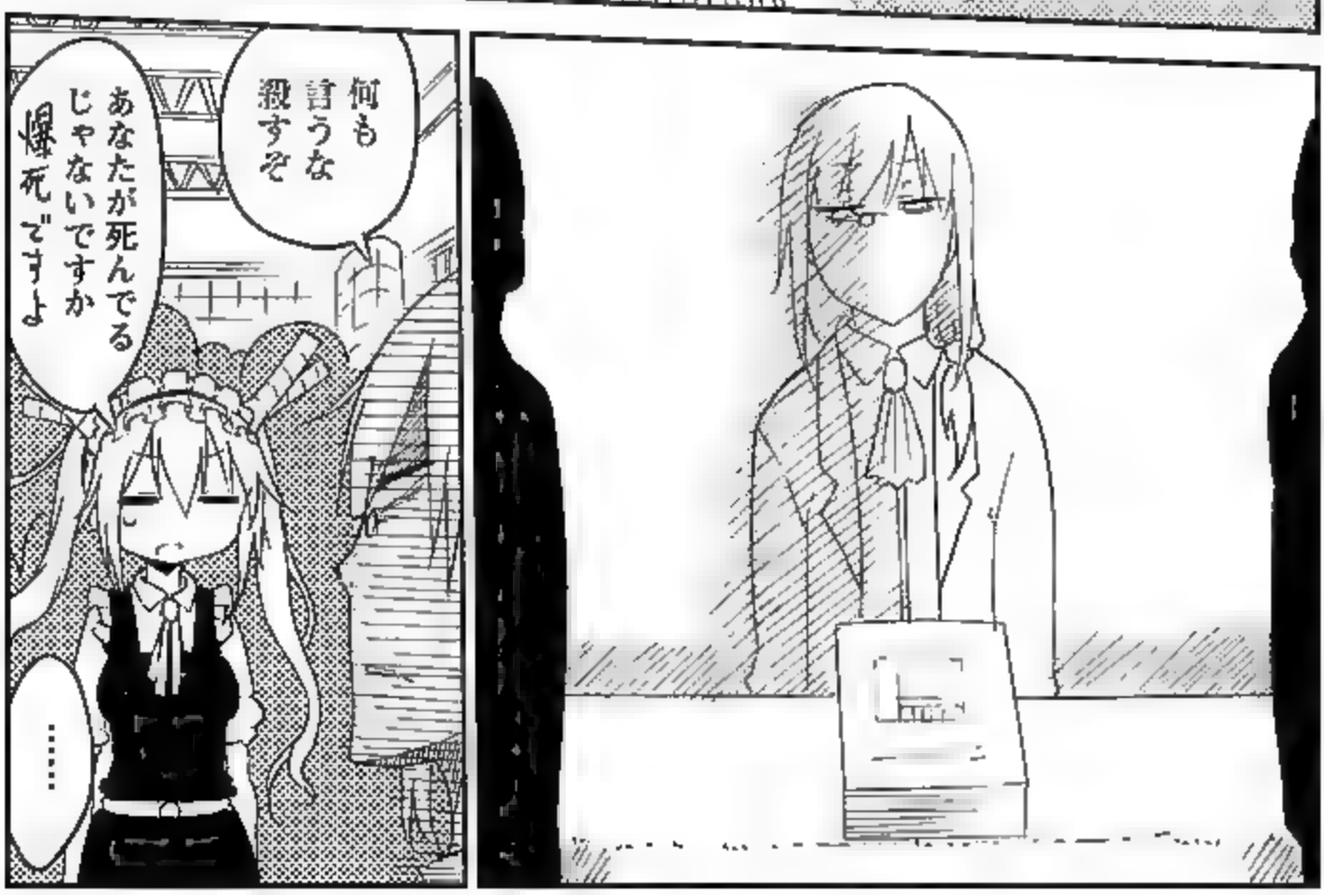
それじゃあ
私が売り子でトールが
列整理ね
頑張っていこ
はい

ところでカンナを
置いてきて
よかったん
ですか？
子供には
見せられない
もの多いし…

アニメやらゲームやらいろいろ
嵩めてたら いつのまにか
自分で描いてたんだよ
この世界を
超エンジョイしてる
じゃないですか…

最後尾はこちらになりまーす！
はい手をあげてついてきてください！
すごい熱気だ…
まるでファイヤードレイクの腸の中にいるみたいだ

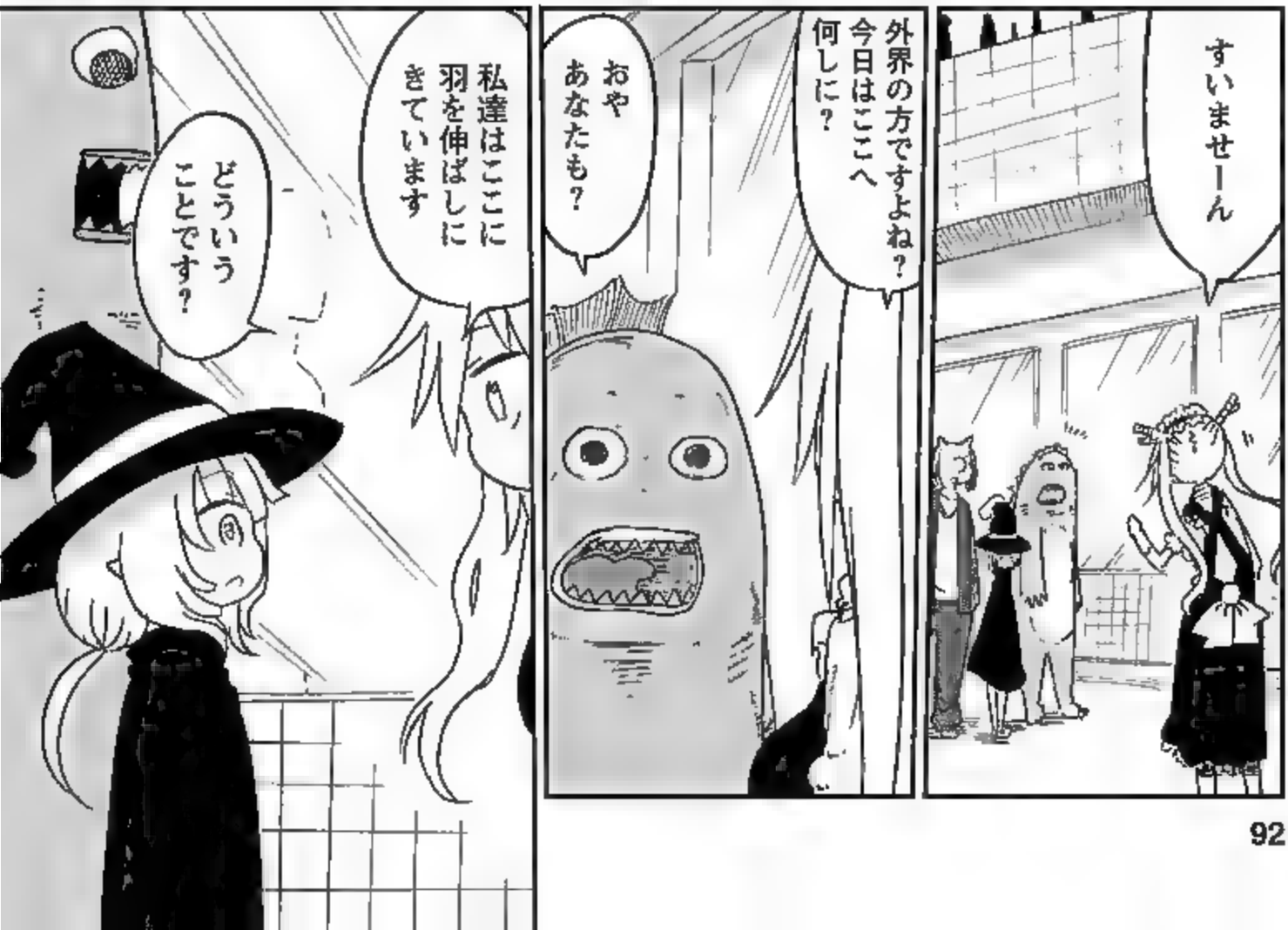

しかしこの列長いな…
人通りの邪魔になりそうだ
ああそうか…
間のあまり並ばないところが緩衝材になって…


何も言うな殺すぞ
あなたが死んでるじゃないですか爆死ですよ
……

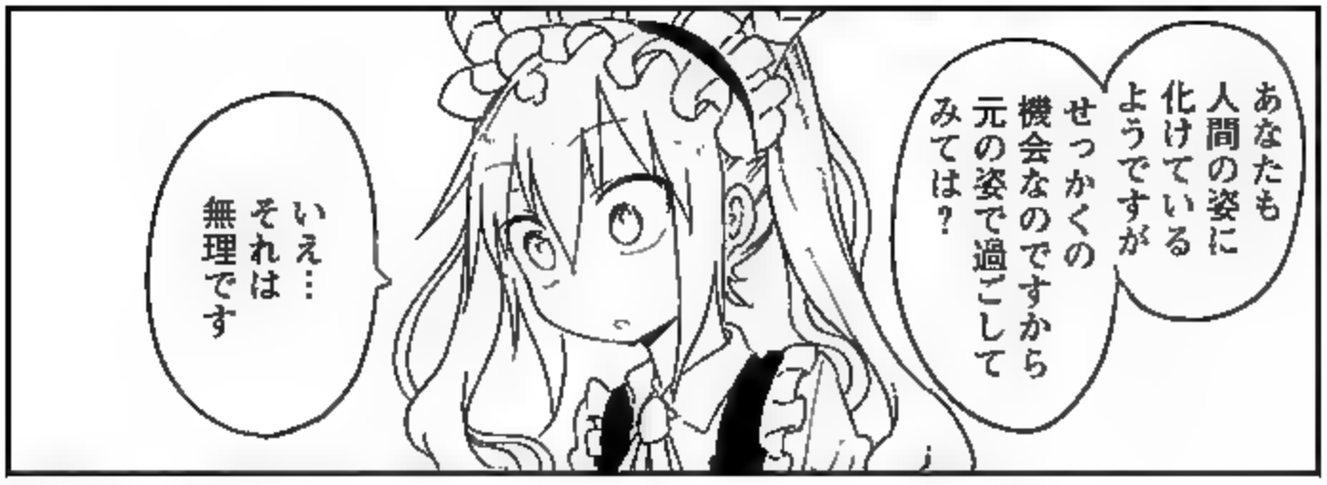
ふー
休憩
お疲れ
それにしても
あまり見ない
格好をしている
人達が多いですね
まるで私のいた
世界のような
格好です
コスプレっていって
アニメや漫画のキャラに
なりきって楽しんでるんだよ
トールだって
同じような
もんじゃない
わたしは歴としたメイドですよ！
どこからどう見ても
あなたの忠実な
性奴隷ですからね！
それは
メイドじゃ
ねーよ
ん？
どうしたの？
あそこの…

サハギンにゴブリンに魔女…
あれは何の作品だろ？

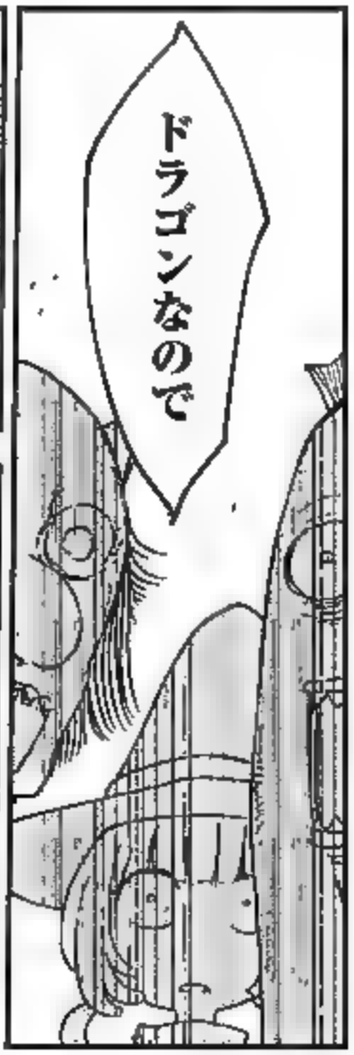
本物ですよ
え？
あの3人は本物の異形の者です
ええ!?


すいませーん
外界の方ですよね？今日はここへ何しに？
おやあなたも？
私達はここに羽を伸ばしにきています
どういうことです？

私達は外界から
こちらの世界へ
事故で飛ばされて
きたのですが…
普段は
人間の姿に化けて
暮らしています
ずっと人間の
姿でいるのは
窮屈なので
こうして真の姿で
いられるような
イベントには来る
ようにしています


あなたも
人間の姿に
化けている
ようですが
せっかくの
機会なのですから
元の姿で過ごして
みては？
いえ…
それは
無理です

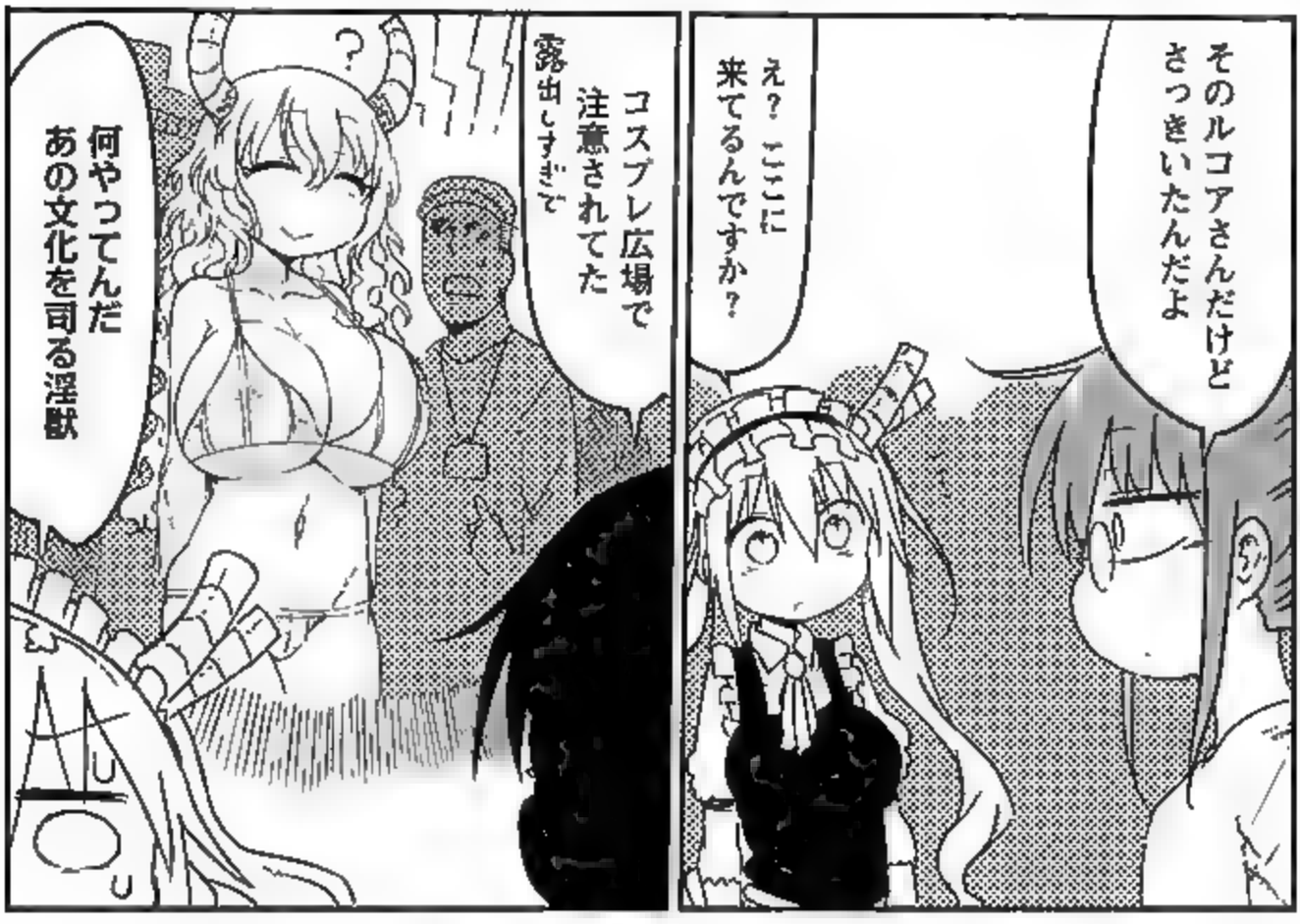
ドラゴン!?
あの
クソ化け物の!?
俺等なんて
メシ扱いの!?


ドラゴンなので

逃げろぉ!!
走らないで
ください！
……相当な
ことやってるな
ドラゴン

違うんです！
お？
ドラゴンは小腹が空いたら必要な分食べてるだけで所詮この世は弱肉強食というか…！
否定じゃなくて補足説明だね

でも他の世界から来てるのってドラゴンだけじゃなかったんだ…
そうですね次元なんて関係なく存在感ある方々はこっちの世界の記録にも残ってますし
ファフニールさんもそうですしルコアさんも…


そのルコアさんだけどさっきいたんだよ
え？ ここに来てるんですか？
コスプレ広場で注意されてた露出しすぎで
何やってんだあの文化を司る淫獣

よく見てみると…
いろいろ混ざってるなぁ…
皆 本来の姿で…
待った？
お！す
今来ました
小林さん！
えっと…
その…
もうちょっと本来の姿に戻りたい…です
……
迷惑にならない形でなら大丈夫だよ

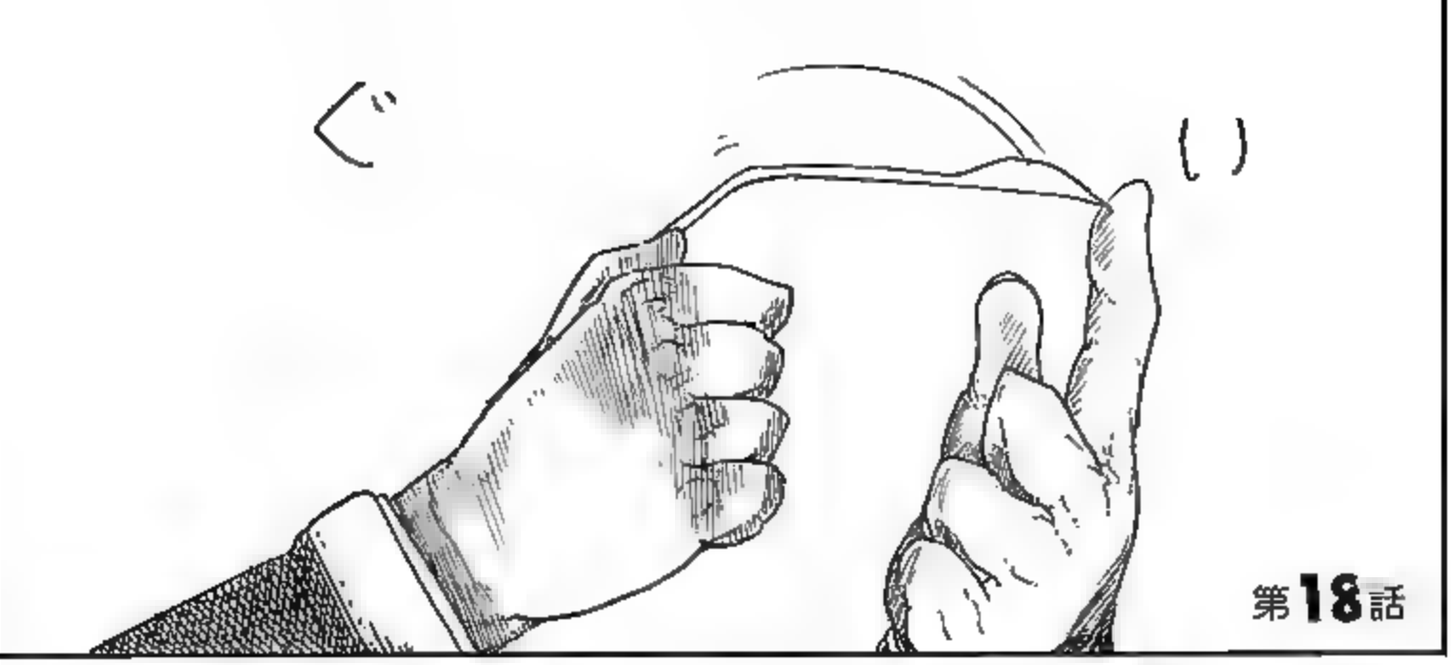
写真撮っていいかな？
はい！
パタ
パタ

すいません
写真撮って
いいですか？
え？
ヌッ
俺も！
ヌッ
あ 俺も!!
え？
え？
のわぁあああああ
ドドド

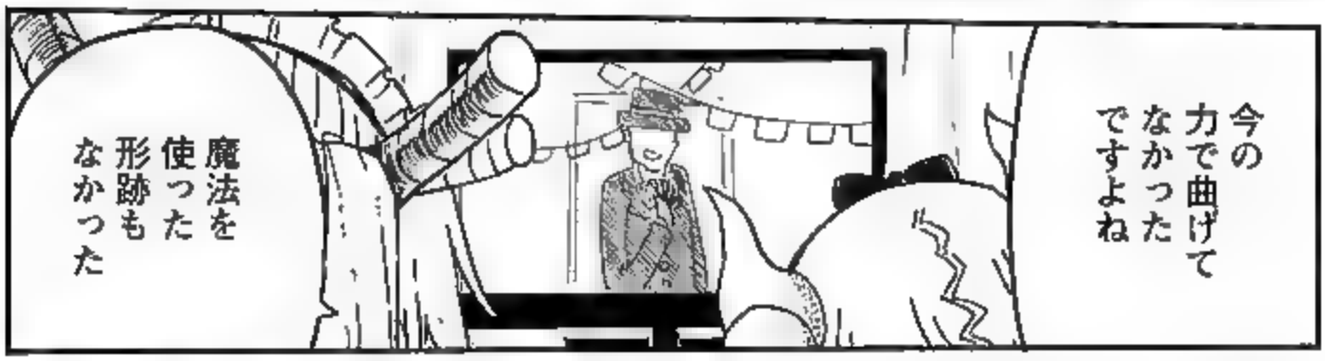
人間も数が増えれば
大分 恐ろしいものなんですね…
国内じゃ一番人が来るイベントかもね
ですがそれでもドラゴンには遠く及びませんけどね！
楽勝です楽勝！
ならばその力是非貸して頂きたい！
ﾏｯ
!?
冬もまたスタッフの手伝いを！
3日連続で！
あ…
もうこりごりですよーッ!!
ﾀｯ!!
次の薄い本何出す？
ドラゴンメイド娘でどうだろう
いいねー

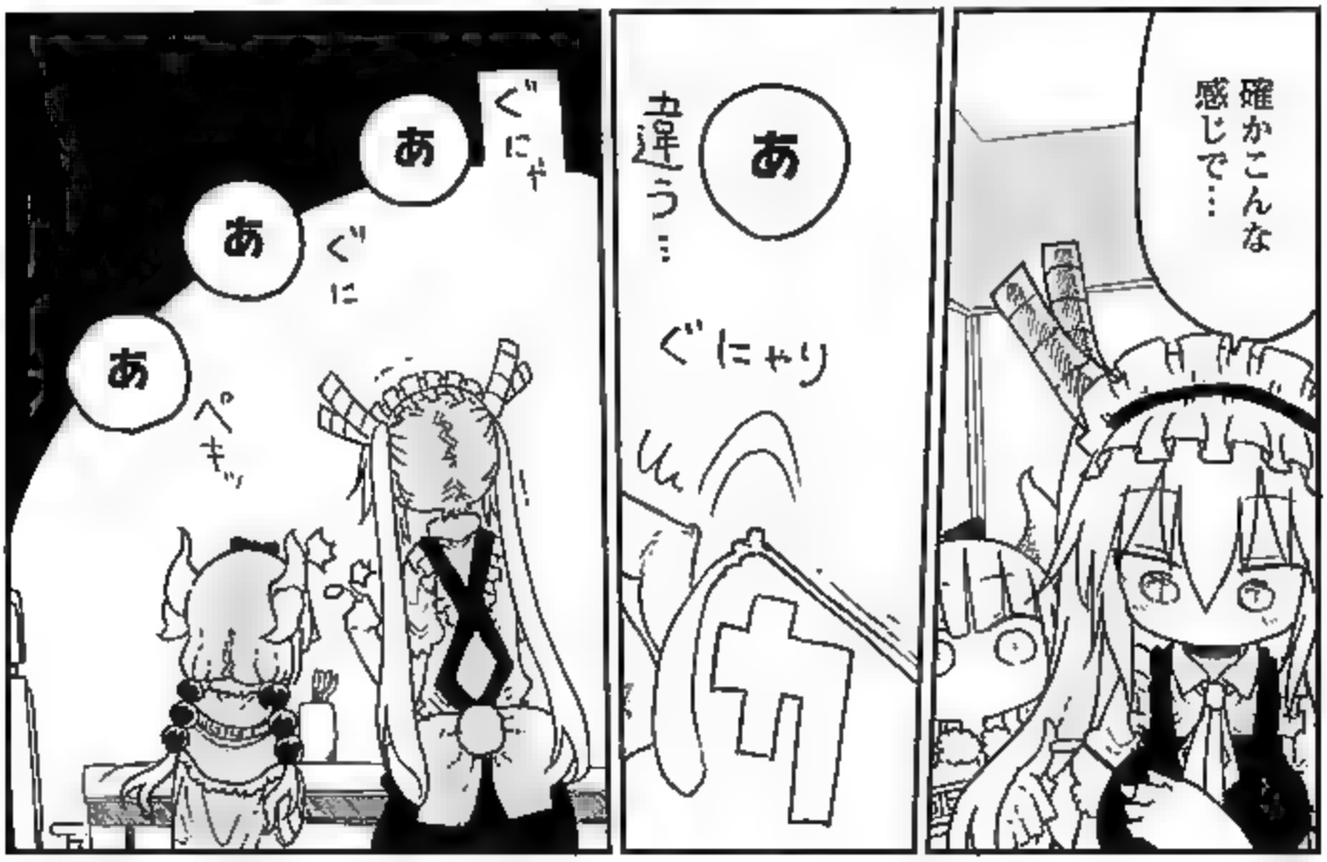
新刊一冊

小林さんちの
メイドラゴン


ぐ
（）
第18話

ガタッ
え？
ん？


今の力で曲げてなかったですよね
魔法を使った形跡もなかった


確かこんな感じで…
あ
違う…
ぐにゃり
あ
ぐにゃ
あ
ぐに
あ
ペキッ

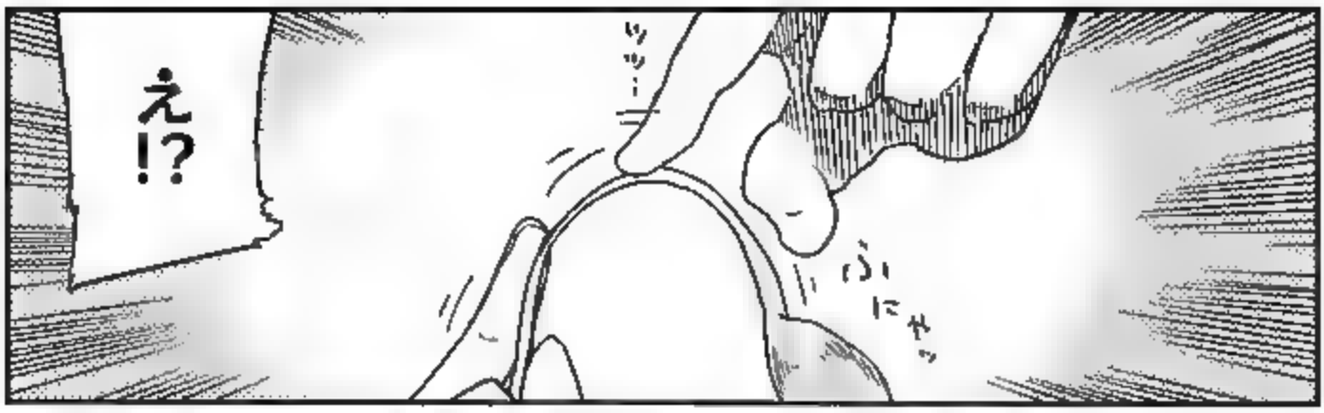
第16話 トールとエスパー

コラァ!!
何やってんの!!
全部曲げたな!!
ぐにゃあ
すいません…

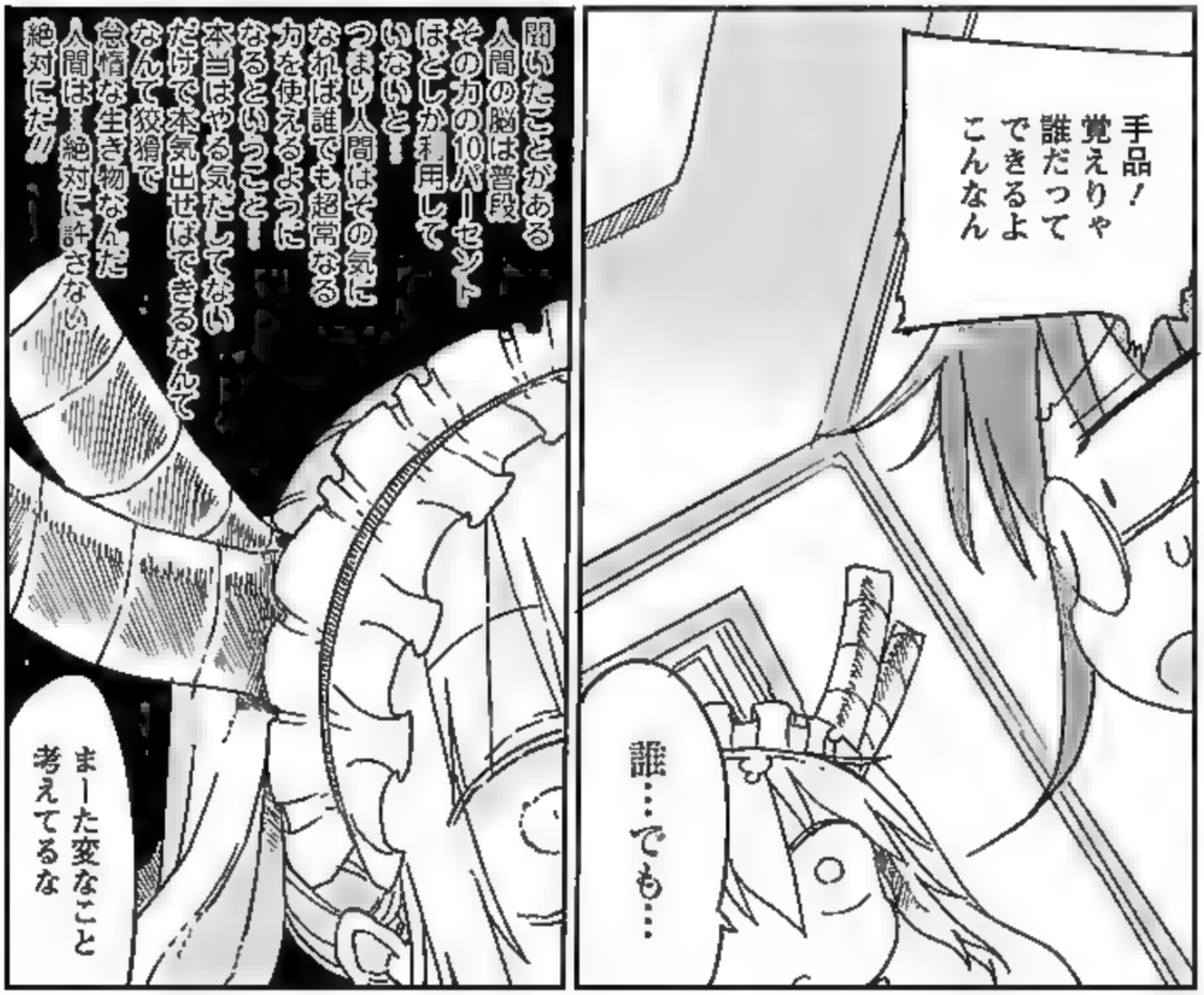
コバヤシ
アレ!
アレ!
超能力
スプーン曲げ
あー

珍しいの?
超能力
超能力!?
やっぱり人間には
隠された力が
あるんですか?
魔力を使わずに
あんなことが
できるなんて
……

スッ…


え!?
ふにゃッ
ッッッ

やはり
小林さんは
ただものでは
なかった!!
神!
コバヤシ
ゴッド!
あのねー…

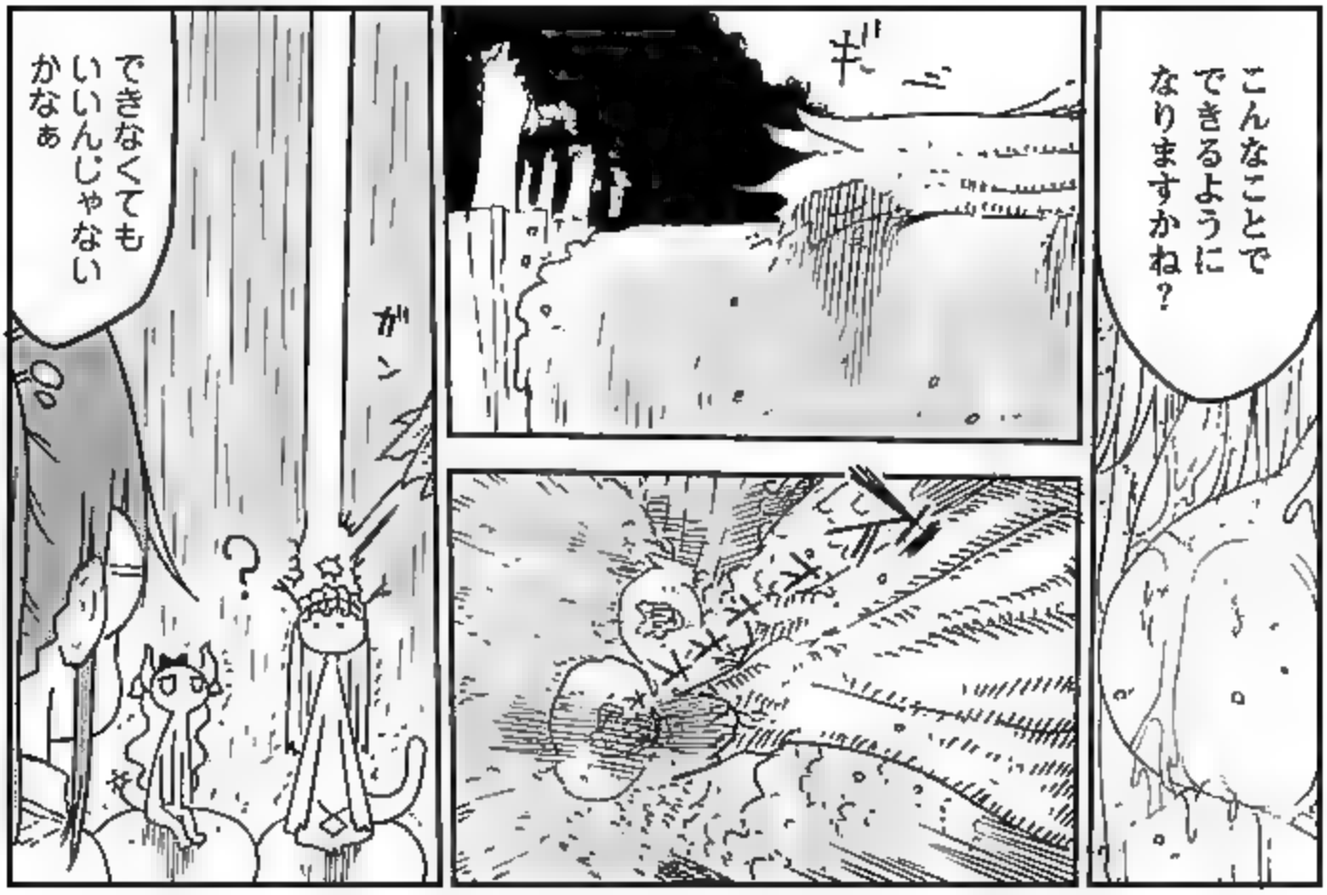

手品!
覚えりゃ
誰だって
できるよ
こんなん
誰…でも…
聞いたことがある
人間の脳は普段
その力の10パーセント
ほどしか利用して
いないと
つまり人間はその気に
なれば誰でも超常なる
力を使えるように
なるということ!
本当はやる気たしてない
だけで本気出せばできるなんて
なんて狡猾で
怠惰な生き物なんだ
人間は…絶対に許さない
絶対にだ!!
まーた変なこと
考えてるな

トール様！
コバヤシの本棚から
こんな本が！
むっ！
でかした
カンナ!!
あ なんとなく
買った本
なるほど…これの
通りにすれば私も
この力が使える
わけか…
その本の内容
出鱈目なん
だけどなぁ

修行！
この本には
修行と
あります！
私 修行
します！
トールって
感化され
やすいよね

小林さんも
行きましょう！
あうん
今日は暇だし
いいよ
スプーンは
魔法で直して
おきます
超能力
いらないよね
トール

修行1



修行2
岩山で瞑想
集中してるなぁ
煩悩を捨て無我の境地へ…
今の私に欲望はありません
へー
コバヤシお腹空いたー
ふっ軟弱者め
じゃあお菓子あげるね
はいあ～ん
私もお!!
ほれ
あ～ん♡

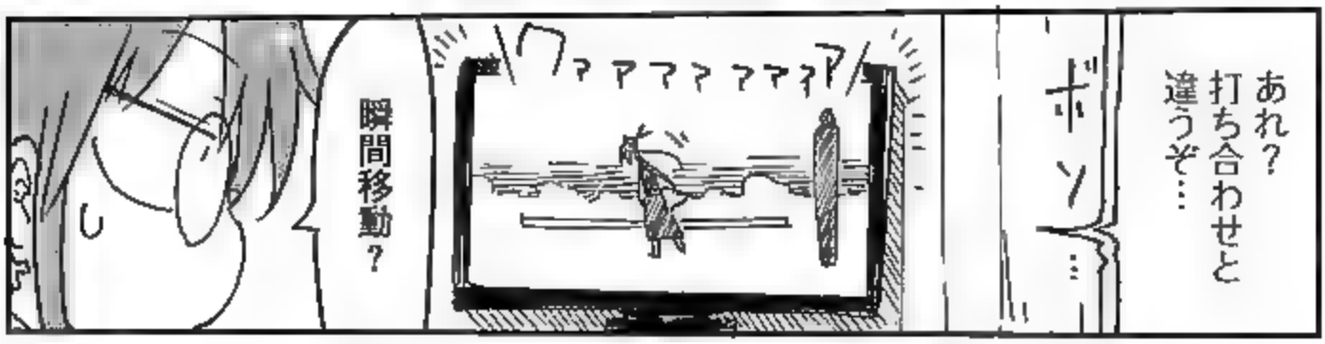
その後も…
トール達の修行は続いたが
もちろん何の意味もなかった
空手の修行だこれ…
だー 何故え!?
あのさー トール
トールは人間にできないことがたくさんできるんだからそれでいいんじゃないの?
駄目です!
私は人間に負けたくないんですよ
奴等に劣るところなんてあっちゃいけないんです!
それは…トールがドラゴンだから?
私が私だからです!

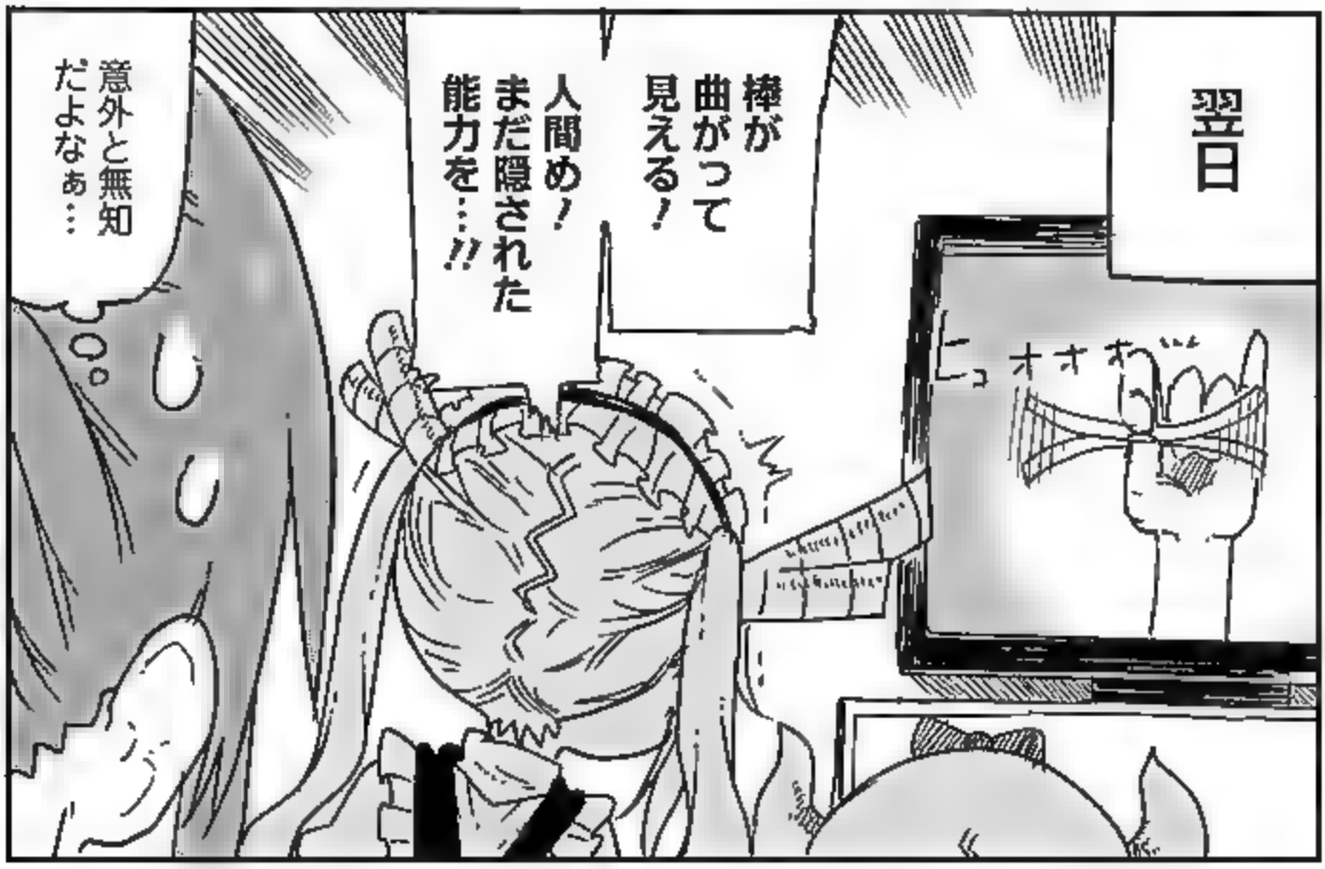
…違うよトール
嫌いな人間の真似をするわけないじゃん
本当は人間を理解したくて…
だから理解できない部分にそんな必死になれるんでしょ？
トール…手 出して
え？
はい
!?
リッ…
ふにゃ～ん
ね 簡単でしょ？
？
？

わかってしまえば
簡単なもんだよ
これは…ね
トールはトールにしか
できないことをすれば
いいんだよ
それが
メイド…
それは
できて
ないよね？
えへへ…
冗談ですよ
わかってます
わかってますよ

じゃあ私にしか
できない能力
見せまーす!!
何かを
壊すのは
無しね
じゃあ
そんなに
できること
ないです
破壊の化身か
私 電気
出せる
パチ
!!チ…
ぬうっ…
なら私は!!
人体
瞬間移動
マジック!
!
!
!
なんと箱を
開けると!!
!

箱の中身が…
メイドさんに…


あれ？
打ち合わせと
違うぞ…
ボソ…
ァァァァァァァァ
瞬間移動？


翌日
ヒュオオ…
棒が
曲がって
見える！
人間め！
まだ隠された
能力を…!!
意外と無知
だよなぁ…

タテジマガ
ヨコジマニ
スゲー

小林さんちの
メイドラゴン

トールが来てから
結構時間が
経った気がする
まだ変なミスは
やらかすけど
トールは
うちのメイドとして
よくやってくれてる
このまま
行けば…
いっぱしの
メイドに
なるのかな

第19話 トールとこの町

ナデナデ…
ん
ありがと
うん
うまい

味が本当
丁度いいよ
何というか
私の好みを
覚えちゃったね
練習
しましたから

練習？
湿度とか
小林さんの体調に
合わせて味を変える
っていうのをやって
いたんですよ
ドラゴンって
いうのは
すごいね
ドラゴンだからじゃ
ありません
私だからです

…何か今日は
落ちついてるね
え？
お母さんと
話してる気分
え――
私だって
ドラゴンの中じゃ
若い方なん
ですよー

さて…
お買いもの
行かないとっ
ん
行って
らっしゃい

お母さん…
か

時々
思うことが
ある
いつまで…
「こんなこと」を
しているつもりなの？
――と
今を楽しんで
いるのは
間違いない
ずっとこの時間が
続いていてほしいと
願っている
でもそれは
いつまで？

いつか
戻らなくては
いけないのだ

そう思うと
わけもなく焦り
始める自分がいる

帰る理由が
増えたら
どうする？

例えば

「むこう」の
戦況がもっと
悪化したら…

今の傷が
完璧に
癒えたら？

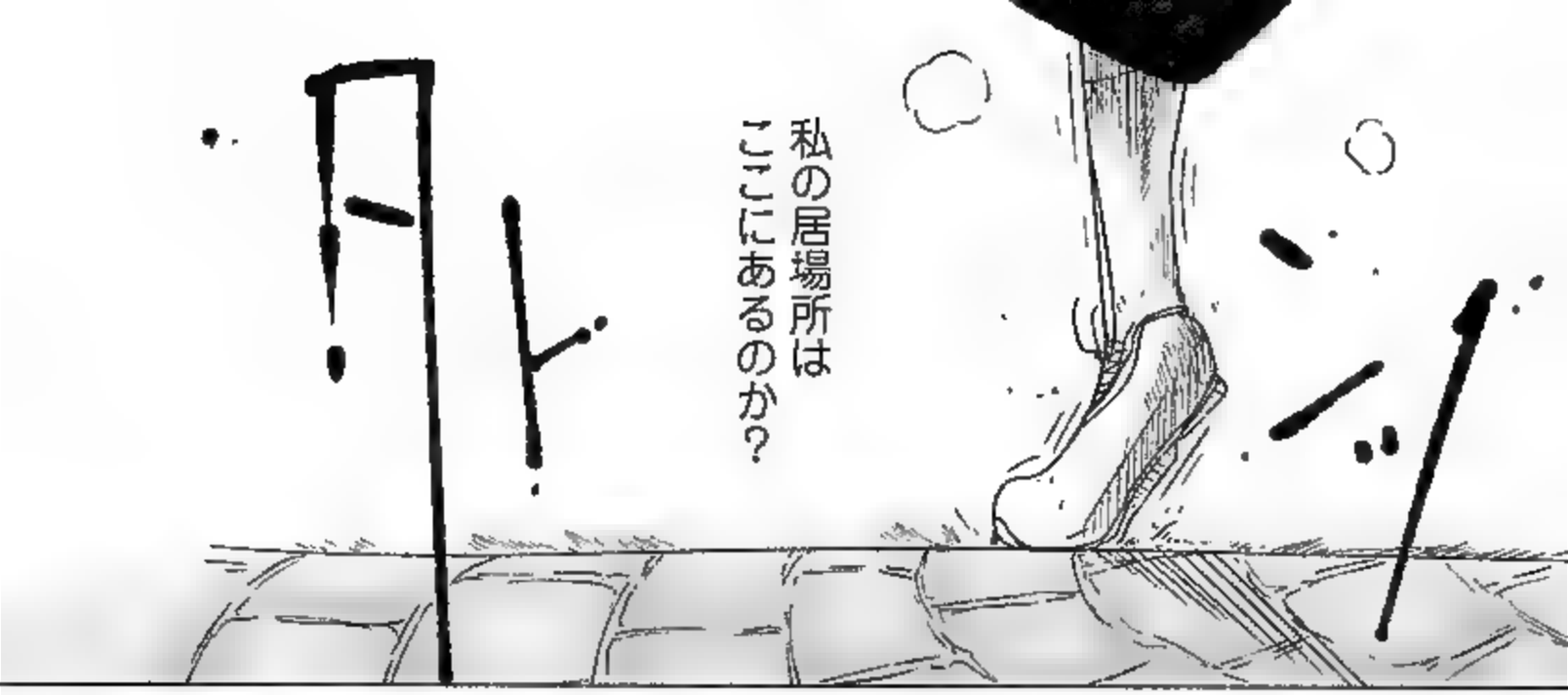
私がもっと
戦いをほしく
なったら

もし――
小林さんが

死んでしまったら…？！

わかっていた
ことじゃないか
人間は簡単に
死んでしまう
命も短く
あっというまだ
ドラゴンはこの星が
終わるまで生きて
いられるのに

全部
わかってて…
覚悟を決めて
ここにいるはず
なのに…
こうして
反復してないと
落ちつかない
この星で
この国で
この町で


私の居場所はここにあるのか？

――なんて考えも
おかえり

小林さんの顔を見れば忘れてしまうわけで…
ただいま…
…です

そうだ…
小林さんがいて…
カンナがいて…
私の居場所は
ここなんだ
！
ピッポー…
またトールの
変な知り合い
だったりして
あはは

第19話 おわり

トールの顔見ながらの
コーヒーはおいしいなー

小林さんちの
メイドラゴン

トールの親について
想像してみたことがあった
厳格で強く高圧的で
人間を殺戮するような
そんなドラゴン
トールを見てると
そんな感じしかなくて
だが実際
目の当たりにすると
来た用件は
わかるな？
一緒に
帰るのだ
トール
この世界に
迷惑をかけては
いけない
単純な話では
ないらしい
第20話 トールと父親

嫌です！
嫌？
何故だ？

お前が姿を
消したこと
そのこと自体には
何も思わない
つらいことも
あるなら
慰めもしよう
ただ
この世界は
駄目だ
不干渉と
定められて
いるのだ

不干渉？
私は…ここに
いたいです
ここが私の
居場所だから…

理不尽なようだが
この世界がお前の
居場所になる
ことはない
何故ならお前は
ドラゴンだからだ
この世界に
ドラゴンは
いない

でも…この
世界にも
ドラゴン…
いや それだけ
じゃない者の
記録がいくつも…
我々の世界の
伝承を持ち込んだ
者がいるにすぎない
わかるか
トール？

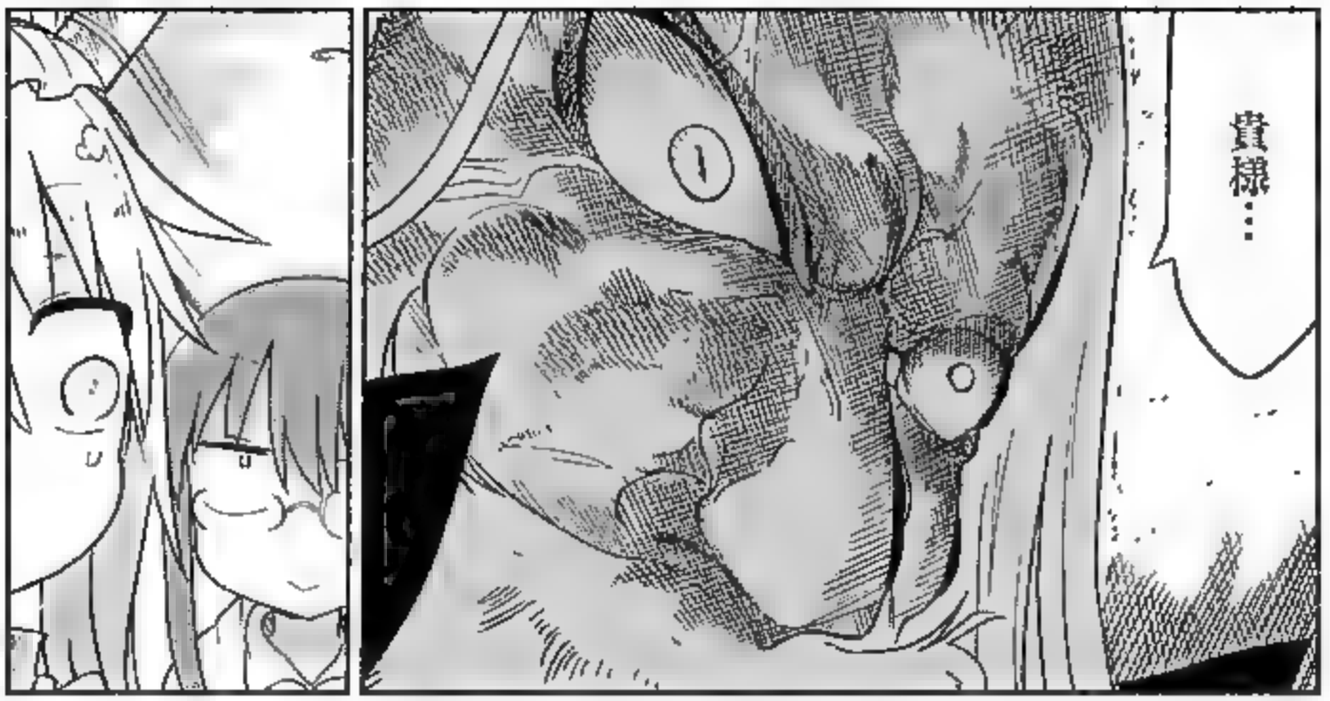
この世界は
お前を認めない
認めては
くれないのだ

人間として
慎ましく
暮らして
みるか？
どこかで
綻びるぞ？
心当たりは
ないか？
戻ってこい
トール
傷つく前に

口を出して
いいのだろうか
こういう
言い方は
卑怯では
ないか…と
でも私は
トールの
意志を尊重
すべきだろう
親子の話に
口を出すのは
よくない

あの…
!?
放つ言葉によっては蒸発するのはあなたになる
どうか気をつけてしゃべってほしい
何かな？

トールは
帰りたく
ないってさ！

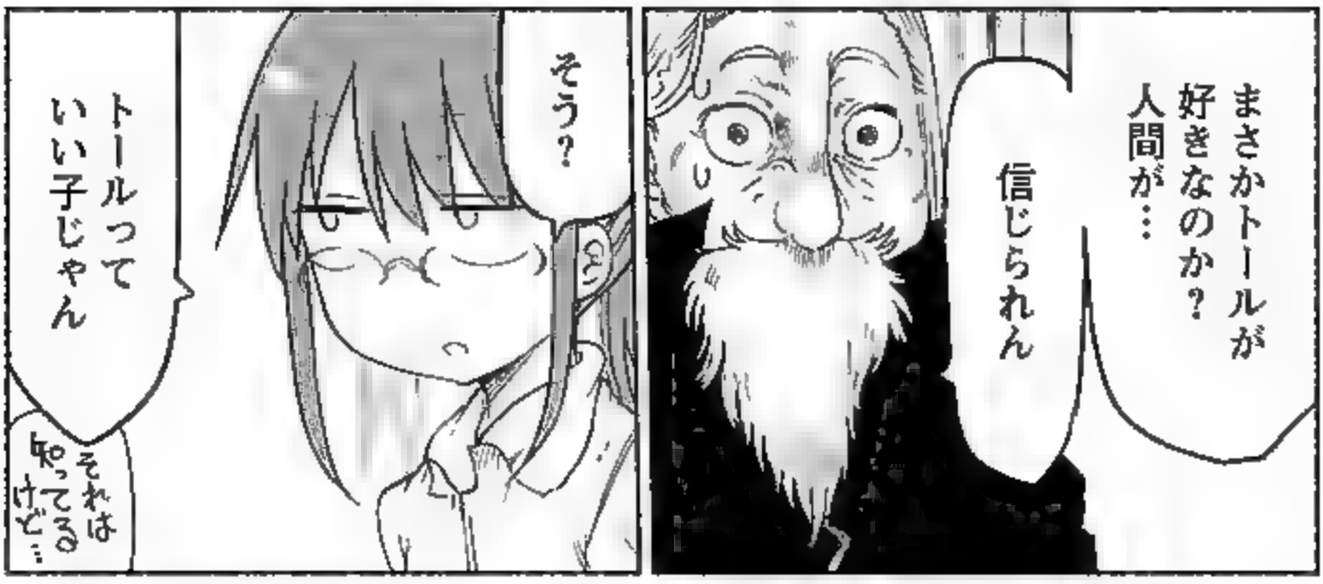

貴様…

あなたは
この世界に
不干渉
なんだろ？
なら私は
殺せない
だが
殺さない
程度のことは
できる
それじゃ
私の意志を
変えられない！
……
…そもそも
何故 トールを
受け入れた？
厄介なものだと
理解できたはずだ
え？ あー
会社に
遅れそう
だったから…
なにそれ

私はトールに
対して情愛は
あるつもりだ
だが世界の
ルールは
守らねば
ならない
強大な力を
持つドラゴン
だからこそだ

秩序を守るべき
立場のドラゴンが
この世界にいる
ことがわかれば
影響されて
他の者も
やってきてしまう
今でこそ平気だが
そのうち侵略を
企む者も出るぞ

そうしたら
どうするのだ
①
それをトールの
せいだとは思わない
きっかけをこじつけて
責任とすりかえただけだ
起こりうる
ことだ
知った
ことか！

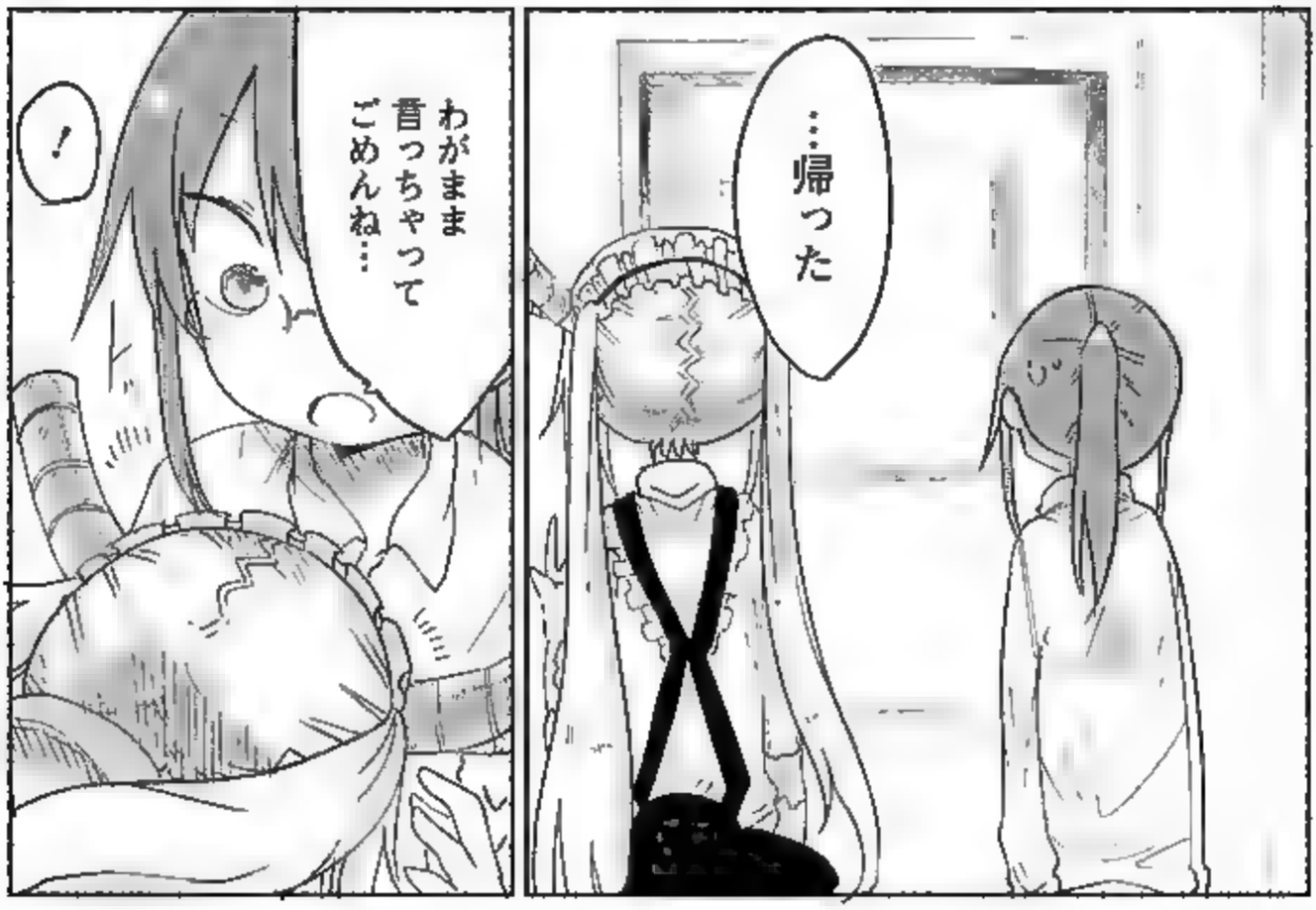


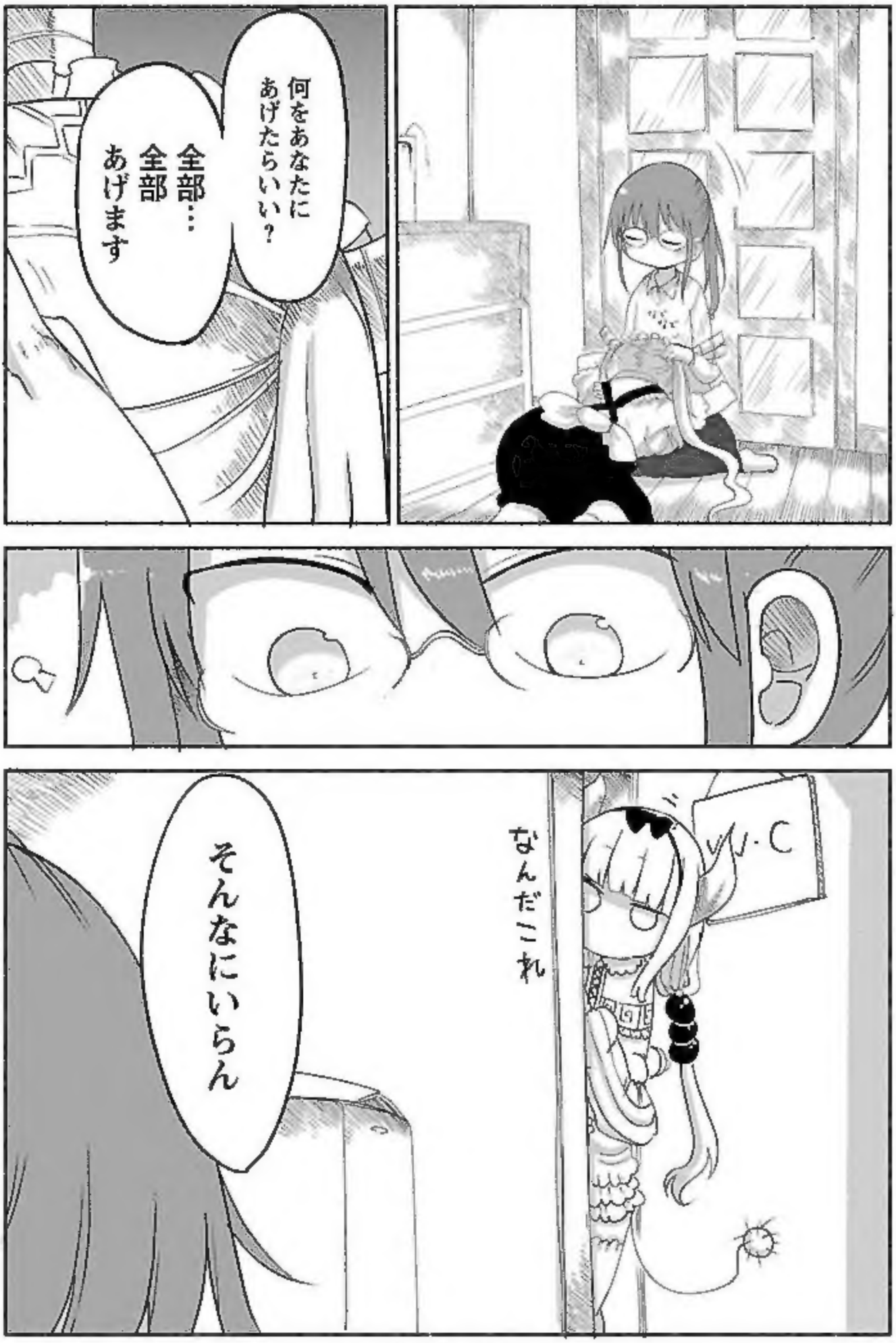
メイドなんだぞ？

わかってんのか？

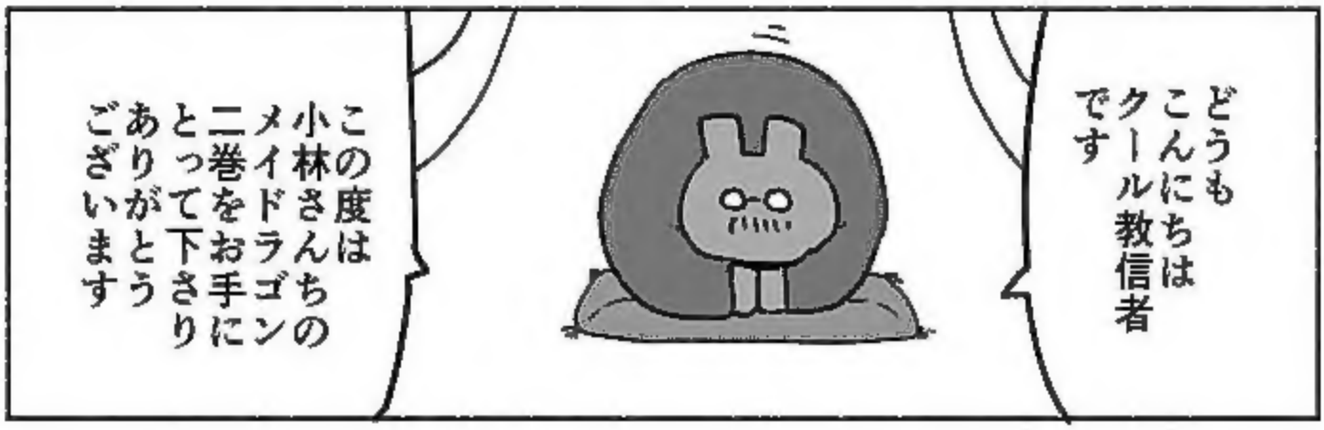
私のメイドを
持っていくな
これは私んだ
調子に…ッ！
トール!!

私をぴぴらす
お前がこの世界に
いるんだぞ…
それを
忘れるな
バタン…


…帰った
わがまま
言っちゃって
ごめんね…
！


何をあなたにあげたらいい？
全部…
全部
あげます
なんだこれ
そんなにいらん

あとがき


どうも
こんにちは
クール教信者
です
この度は
小林さんちの
メイドラゴン
二巻をお手に
とって下さり
ありがとう
ございます

ファンタジー的な
要素を含むこの
作品ですが
ファンタジー特有の
設定の多さという
ものを
私は好んでおります
特に元ネタが
存在するドラゴンは
伝承や強さを
調べるのに
わくわくしますね
図書館で眺めてると
一日終わったり
することもあったり
ほしいと思った
資料がまったく
手に入らなかったりと
苦労もありますが

――のわりには
トールは
調べた知識を
あんまり
使わず作った
キャラかな
と思います
適当にいいなーと
思った
要素を軽く
入れている
感じです
何故だ…神話や
伝承に基づいた
重厚な密度を
持つドラゴンを
描こうとしたはず…
それは作品の
ジャンルを
変えないと
駄目ですねー

閑話休題

トールの人外度合いですが結構ライトですね
もうちょっとドラゴン成分を濃くするとこんな感じ？
これはこれで…
カンナを濃くしたらこう
私のウサギ成分を濃くしたらこうなる
……
いやこれはまずいだろ
それでは次の巻でお会いしましょう
ありがとうございました

月刊アクション発コミックスを
無料で試し読み!!

専用アプリをダウンロードして
読み取り用画像に「かざす」だけ!

※スマートフォン、タブレット端末のみ対応
（一部未対応の機種もあります）

読み取り用画像

読み取りには専用アプリ(無料)
のダウンロードが必要です

詳細につきましては、特設ページ
<http://webaction.jp/appDL/>をご覧ください。
左のQRコードを読み取るか、WEBコミックアクション
TOPページのバナーからも飛べます。

初出「月刊アクション」2014年5月号～2015年2月号

ACTION COMICS

小林さんちのメイドラゴン②

2015年 2月10日　第1刷発行

著　者　クール教信者
©coolkyousinnjya 2013

発行者　赤坂了生

発行所　株式会社 双葉社　〒162-8540 東京都新宿区東五軒町3-28
電話03-5261-4818(営業) 03-5261-4804(編集)

装　丁　LIGHTNING

印刷所　三晃印刷株式会社

製本所　株式会社宮本製本所

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製・転載は著作権法上での例外を除き
禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、
たとえ個人や家庭内での利用でも著作権法違反です。

WEBコミックアクション　http://webaction.jp
双葉社ホームページ　http://www.futabasha.co.jp
(双葉社の書籍・コミック・ムックが買えます)

この物語はフィクションです。登場人物・団体等はすべて実在のものとは関係ありません。

ISBN978-4-575-84570-9　C9979

デジタル版　2015年発行
製作所　デジタルカタパルト株式会社
http://www.digital-catapult.com